取扱説明書　ＫＷ－Ｈ１２８

ご使用の前に、 この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
また、お読みになった後も、大切に保管してください。

京セラコミュニケーションシステム株式会社

はじめに

このたびは KW-H128（以降、本 PC カードと呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は KW-H128 の取扱説明書で本 PC カードをお使いのパソコンや PDA で使用できるようにするまでのセットアップ方法を、使用環境別に説明しています。
本 PC カードが使用できる使用環境は次のとおりです。

- Windows 95/Windows 98/Windows Me/Windows 2000/Windows XP/Windows NT4.0 対応のパソコン
- Windows CE2.0 以上
- Mac OS 8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.0.4/ 9.1 対応の Macintosh
- 各種 PDA

また、初めてデータ通信やインターネットを利用する方のために、専門用語の解説を付録に簡単に説明してありますので、ご一読ください。
ご使用の前に、必ず安全上のご注意をよくお読みの上、安全に正しくお取り扱いください。
また、本書は、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管しておいてください。

おことわり

無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害およびその回復に要する費用に対し、当社は一切の責任を負いません。
本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。
詳しくは、各地方自治体にお問合せください。
MNP は米国 Microcom 社の商標です。
Hayes（ヘイズ）は米国 Hayes Micro Computer Products.Inc.の登録商標です。
Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windows XP
Windows CE は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
その他、商品名および製品名などは各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

本書では、本 PC カードを安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の表示を使って注意事項を喚起しています。

これらの表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの表示が記載されている事項については、必ずお守りください。

危害や損害の程度の区分表示

⚠**警告：この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠**注意：この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

⚠**この絵表示は気をつけて頂きたい「注意喚起」の内容です。**

⃠**この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。**

⚠警告

⃠車両を運転中に本 PC カードを使用しないでください。交通事故の原因となります。

⃠航空機の機内や病院など、使用を禁止されている場所では本 PC カードを使用しないでくだい。電波障害により、電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあり、事故の原因となります。

⃠本 PC カードを分解、改造しないでください。火災、感電および故障の原因となります。

⚠注意

⃠水や薬品のかかる可能性のある場所で本 PC カードを使用したり、放置したりしないでください。発熱や感電の原因となります。

⃠アンテナは可動式ですが、アンテナの可動範囲を超えた操作をしないでください。
アンテナの可動部が破損する原因となります。

使用上の注意

お取り扱いについて

・本 PC カードを次のような場所で使用したり、放置したりしないでください。

・極度に高温や低温の場所

・湿気が多い場所や水がかかる場所

・直射日光のあたる場所

・ほこりの多い場所

・薬品や有害なガスに触れる可能性のある場所

万一、本 PC カードから異常な発熱や発煙、異臭が生じた場合は、ただちに本 PC カードをご使用のパソコンまたは PDA から抜き取ってください。お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

・本 PC カードを落としたり、強い衝撃を与えないでください。

・本 PC カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

・本 PC カードをパソコンのスロットに挿入したまま長期間保存しないでください。

・本 PC カードを未使用の時は、アンテナを本 PC カード本体に収納してください。

・本 PC カードのアンテナに強い衝撃や、荷重を加えないでください。破損の原因となります。
アンテナの正しい操作方法については７ページをご覧ください。

付属ソフトウェアについて

製品に付属のソフトウェアの使用にあたり、下記の事項にご注意ください。

・お客様には、本ソフトウェアの使用権のみが譲渡されます。著作権が移転するものではありませんので、第三者への譲渡、販売などはできません。

・本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的にのみ許可されます。他人への譲渡、販売等の目的でコピーすることはできません。

・本ソフトウェアのご使用にあたり、生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する損害の請求については、弊社および販売店などはその一切の責任を負いません。

通信状態について

本 PC カードは、通信を行っていない状態で PC カード本体の表示ランプ（アンテナマーク側）が橙点灯の時は使用できません。同様に表示ランプ（アンテナマーク側）が緑点滅している場合、通信が不安定となる恐れがあります。表示ランプ（アンテナマーク側）が安定して緑点灯している状態で通信を行ってください。ただし表示ランプ（アンテナマーク側）が安定して緑点灯している場合でも、回線が混んでいて通信ができない場合があります。この場合、しばらくしてからもう一度接続し直してください。

表示ランプ（アンテナマーク側）が橙点灯のまま使用できない状態が続いた場合、アンテナを可動させ緑点灯になるように調整してください。⇒７ページ

自動再発信の制限について

KW-H128 では、接続できなかった場合の再発信動作（リダイヤル）は３分中２回までとなっています。

この場合には、しばらくしてから再発信（リダイヤル）してください。

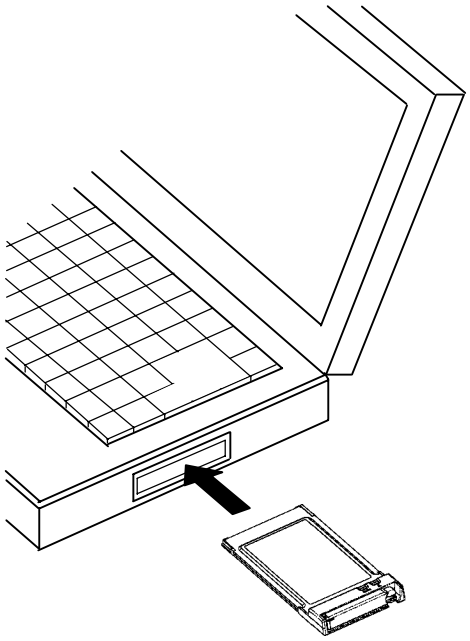
その他

- **本 PC カードは PC カードスタンダードに準拠しておりますが、パソコンや PDA の電源が ON の状態で抜き差しすると、故障の原因となる場合もあります。そのため、本 PC カードを抜き差しするときは、パソコンや PDA の電源を OFF にしてから行うようにしてください。**
- **パソコンや PDA の電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、お使いください。**
- **テレビやラジオのそばで本 PC カードを使用すると、画面が乱れたり、雑音が入ったりする場合があります。この場合、テレビやラジオから離してお使いください。**
- **誤って操作をしたときは、パソコンや PDA の電源を一度切り、電源を入れ直してください。**

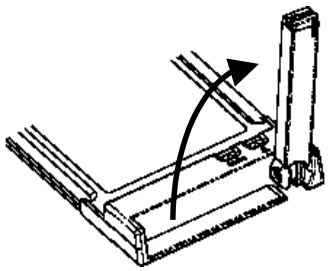
手順

本ＰＣカードを使って通信を行うまでの手順を要約して説明します。。
ここでは、ＫＷＩＮＳへの加入、およびブラウザやメールソフトのインストールが完了していることを前提として説明しています。

① 本ＰＣカードをセットする。



②本ＰＣカードをパソコンに認識させる。
③ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。
④本ＰＣカードのアンテナを立て、電波の感度調整をする。



⇒18、19ページ参照

⑤ＫＷＩＮＳに接続する。

重要

本ＰＣカードを使って通信を行う場合、この設定を正しく行わないと通信ができないか本来の通信速度が出ない可能性があります。

アクセスポイントの電話番号に続けて「＃＃６ｎ」を入力してください。

アクセス方式		電話番号に続けて
３２ｋパケット方式	下り最大３２ｋｂｐｓ	＃＃６１
１２８ｋパケット方式	下り最大１２８ｋｂｐｓ	＃＃６４

・１２８ｋパケット方式の場合の設定例

電話番号が０５７０－５７０－１６０のとき

電話番号の入力欄に０５７０５７０１６０＃＃６４と入力します。

目　次

はじめに……2
おことわり……2
安全上のご注意……3
使用上のご注意……5
お取り扱いについて……5
付属ソフトウェアについて……5
通信状態について……6
その他……6
手順……7

1　ご使用になる前に
通信方式について……１２
通信方式の設定について……１３
・ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄの電話番号に続けて「＃＃６ｎ」を入力する……１３
・本 PC カードの追加設定に AT コマンド（@O6m）を入力する……１３
発着信の制限について……１１４

2　KW-H128 のセットアップ
梱包品の確認……１６
表示ランプについて……１７
アンテナの操作方法……１８
手順の流れ……２０
カードをセットする……２２
カードを認識させる……２３
・Windows 95 の場合……２３
・Windows 98 の場合……２４
・Windows Me の場合……２７
・Windows 2000 の場合……２９
・Windows XP の場合……３３
・Windows NT4.0 の場合……３６
・Windows CE・各種 PDA の場合……３８
・Macintosh の場合……３９
プロバイダの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする……４０
・Windows 95/98/Me の場合 ……４１
・Windows 2000 の場合……４６
・Windows XP の場合……５１
・Windows CE の場合……５７
・各種 PDA の場合……６０
・Macintosh の場合……６１
インターネットに接続する ……６２
・Windows 95/98/Me の場合 ……６２
・Windows 2000 の場合……６３
・Windows XP の場合……６４
・Windows CE の場合……６５
・Macintosh の場合……６６

3　困ったときに
確認してください……６８
・本 PC カードが動作しない場合の確認事項……７１
カスタマサポート……７３

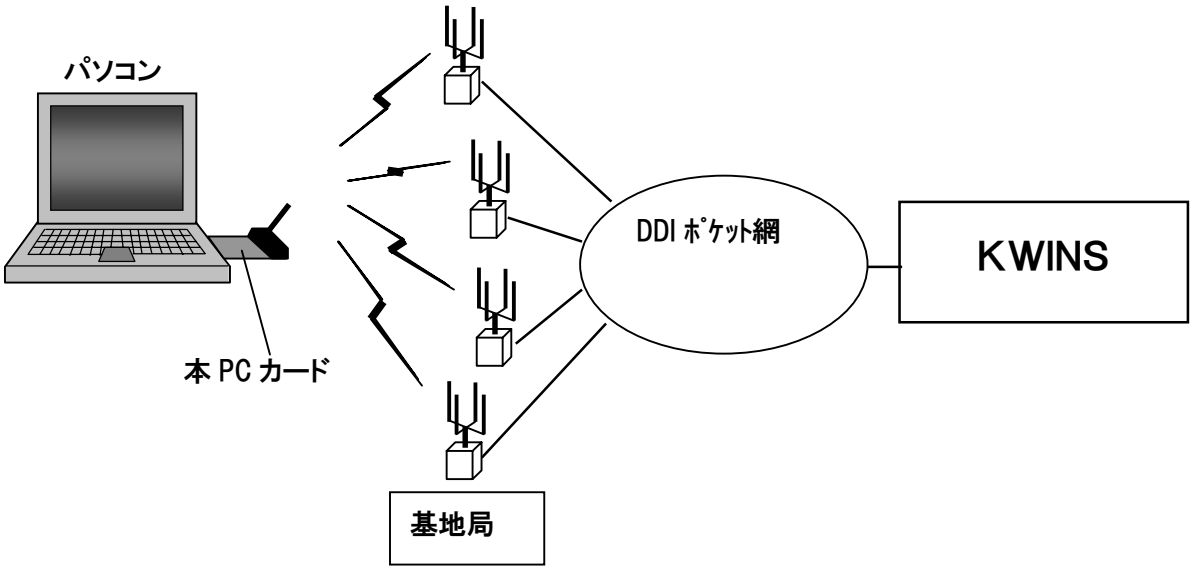
4　付録
コマンドリファレンス……７５
・AT コマンドの入力方法例……７５
・主な設定例……７７
・AT コマンド……７８
・S レジスタ……７９
・拡張 AT コマンド……７９
・リザルトコード……７９
用語集……８１
仕様……８３
索引……８５

１　ご使用になる前に
通信方式について‥‥‥‥‥‥‥‥１２
通信方式の設定について‥‥‥‥１３
発着信の制限について‥‥‥‥‥１４

通信方式について

本 PC カードの通信方式を以下に示します。

データ通信を始めるにあたり、通信方式をご理解の上、始めていただくことをおすすめします。



本ＰＣカードは以下の通信方式が選択できます。

・３２ｋパケット方式

ＤＤＩポケットがサービスを行っているパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割してパケット単位で情報をやりとりする方式です。最大下り３２ｋｂｐｓ、上り最大１７ｋｂｐｓでＫＷＩＮＳへ接続が可能です。

・１２８ｋパケット方式

ＤＤＩポケットがサービスを行っているパケット通信方式です。

４つの基地局を利用する事で最大下り１２８ｋｂｐｓ、上り最大６８ｋｂｐｓでＫＷＩＮＳへ接続が可能です。

注意：ライトＥメール・Ｈ“ＬＩＮＫ・ライトメール・ＤＸメールおよび、Ｐメールには対応しておりません。

注意：３２ｋＰＩＡＦＳ、６４ｋＰＩＡＦＳ、フレックスチェンジ方式、無線モデム・ＦＡＸ、
無線インターネット、トランシーバ通信はできません。

通信方式の設定について

本ＰＣカードの通信方式を設定するには、「ＫＷＩＮＳの電話番号に続けて＃＃６ｎを入力する」方法と「本ＰＣカードの追加設定にＡＴコマンド（@Ｏ６ｍ）を入力する」方法の２通りがあります。ご都合の良い方法を選んでご利用ください。

・ＫＷＩＮＳの電話番号に続けて「＃＃６ｎ」を入力する

アクセス方式	電話番号に続けて
３２ｋパケット方式：下り最大　３２ｋｂｐｓ	＃＃６１
１２８ｋパケット方式：下り最大１２８ｋｂｐｓ	＃＃６４

・１２８ｋパケット方式の場合の設定例

電話番号が０５７０－５７０－１６０のとき

電話番号の入力欄に０５７０－５７０－１６０＃＃６４と入力します。

・本ＰＣカードの追加設定にＡＴコマンド（@Ｏ６ｍ）を入力する

本 PC カードの通信設定欄の追加設定に「@O6m」を入力します（O はアルファベットのオーです）。

たとえば「@O64」と入力した場合は、電話番号の末尾に（##64）を入力しなくても、１２８ｋパケット方式で通信を行います。

m または n の部分には以下の半角数字が入ります。

m または n=1：　３２ｋパケット方式

m または n=4：　１２８ｋパケット方式

注意：通信方式の設定を正しく行わないと通信が出来ません。

注意：２通りの方法で設定を行った場合、「@Ｏ６ｍ」の設定よりも「＃＃６ｎ」の設定の方が優先されます。

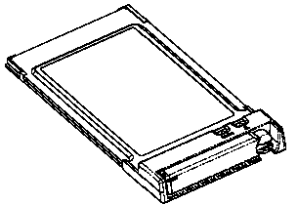
発着信の制限について

本 PC カードは３２ｋパケット方式、１２８ｋパケット方式、いずれかの接続方式を選択して通信を行いますが、どちらを選択しても発信（電話をかける）のみ可能で、着信（電話をうける）はサポートしておりません。

２　KW-H128 のセットアップ
梱包品の確認‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥１６
表示ランプについて‥‥‥‥‥‥‥‥‥１７
アンテナの操作方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥１８
手順の流れ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥２０
カードをセットする‥‥‥‥‥‥‥‥‥２２
カードを認識させる‥‥‥‥‥‥‥‥‥２３
プロバイダの電話番号
DNS アドレスの各種設定をする‥４０
インターネットに接続する‥‥‥６２

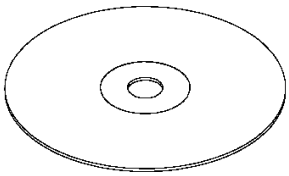
梱包品の確認

お買い上げいただいたパッケージには、次のものが入っていますので、お使いになる前に確認してください。
万一、不足しているものがあった場合は、お買い上げの販売窓口にお問い合わせください。



本体（１枚）：パソコンやＰＤＡのＰＣカードスロットに挿入して使用します。

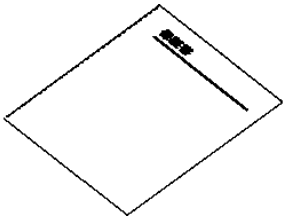
取扱説明書（CD-ROM）：本ＰＣカードを使用できるまでのセットアップ方法を説明しています。
ＡＴコマンドの詳細内容については、付属のＣＤ－ＲＯＭ内のコマンドリファレンスをご覧ください。



セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭ（1 枚）：ＣＤ－ＲＯＭ内には次のものが入っています。お使いのパソコンに合わせてご使用ください。

Windows95/98/Ｍｅ/2000/XP/NT4.0 用セットアップファイル等
・ユーティリティソフト/マニュアル
・コマンドリファレンス
Macintosh 用セットアップファイル等
・ＣＣＬファイル
・　コマンドリファレンス

取扱説明書（ＰＤＦファイル）

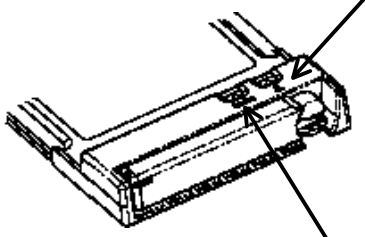


保証書（1 部）：保証書は大切に保管してください。

＊ユーティリティソフトは、カードに登録されているＰＨＳ電話番号表示と待ち受け時の受信強度を表示するものです。

表示ランプについて

サービスエリア内の電波状態を 5 段階表示で、また通信状態の区別をお知らせします。



アンテナマーク（電波の強さ）

- **緑点灯：安定した通信が行えます。**
- **緑点滅（長い点灯⇔短い消灯）：**
- **緑点滅（同じ間隔で点灯⇔消灯）：**
- **緑点滅（短い点灯⇔長い消灯）：**
- **橙点灯：通信はできません。**

電波の状態を 3 段階の点滅でお知らせします。ランプの点灯している時間が短くなるほど電波は弱まります。

MODE（通信状態）

- **緑点滅（長い点灯⇔短い消灯）：128kパケット通信中**
- **緑点灯：32kパケット通信中**
- **消灯：待機中**

注意：本ＰＣカードをパソコンや各種ＰＤＡに挿入し電源を投入した際、両方のランプが数秒間、橙に点灯しますが、これは本ＰＣカードに対する初期化動作を表示するもので異常ではありません。

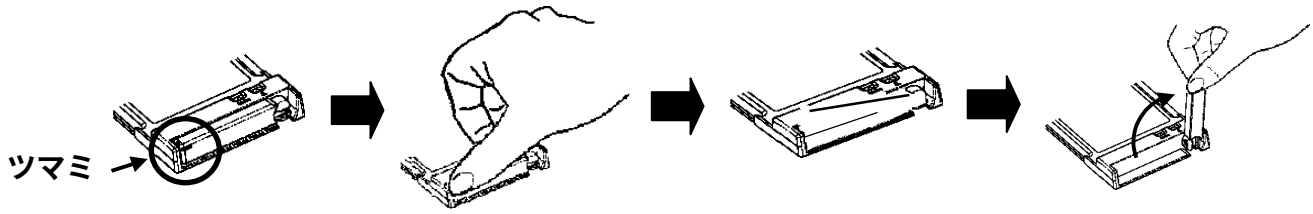
注意：本ＰＣカードをパソコンや各種ＰＤＡに挿入し電源を投入した際、アンテナマーク側ランプが赤点灯のままの場合には、一度パソコンあるいは各種ＰＤＡの電源を切り、再び投入してください。それでも状態が変わらない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

アンテナの操作方法

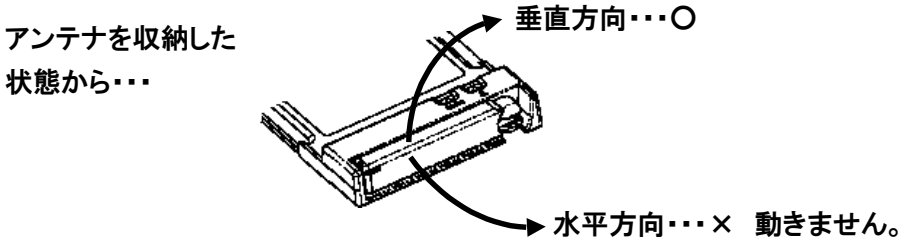
本 PC カードを使ってデータ通信する前に、アンテナの向きを調整し電波の状態をよくする必要があります。
ここでは、アンテナの正しい操作方法を説明します。

１　アンテナを立てる

アンテナの端についているツマミを軽く指に引っ掛け、PC カード本体より少しアンテナが上にくるまで動かします。その後アンテナの先端を軽くつまみ、アンテナが垂直になるように動かします。



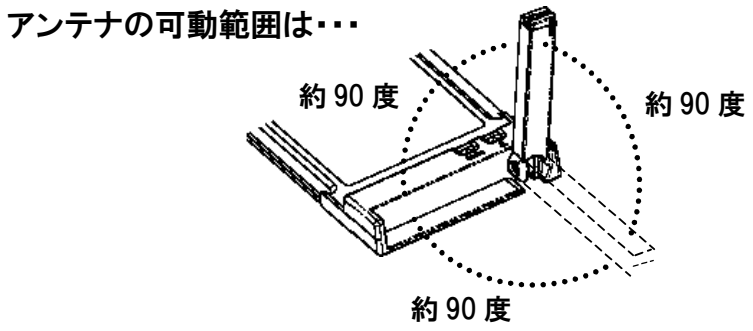
注意：アンテナを収納した状態のときは、アンテナ先端の溝とＰＣカード本体のレールにより水平方向には動かない構造になっています。アンテナを収納した状態から、無理に水平方向へアンテナを動かさないでください。アンテナおよび、ＰＣカード本体を破損する恐れがあります。



２　アンテナの調整

アンテナを垂直にした状態で PC カード本体のランプ表示（アンテナマーク側）を確認します。
７ページの表示ランプの説明を参照し、電波が一番強い状態になるようにアンテナの先端を軽く指でつまみ、アンテナを動かします。

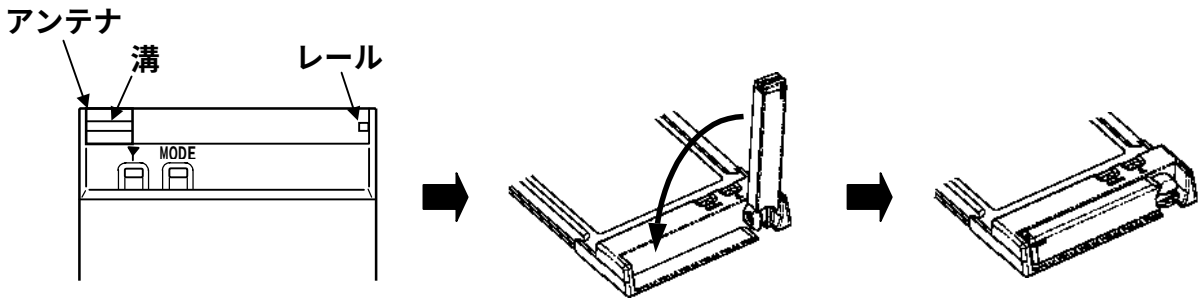
注意：アンテナの可動範囲を超えた操作はしないでください。アンテナ破損の原因となります。



注意：アンテナの調整を行っても、ランプ表示（アンテナマーク側が橙点灯のまま変化せず通信ができない場合、電波の届きにくい場所である可能性があります。場所を移動して再度調整してみてください。

3　アンテナの収納

アンテナ収納する際は、アンテナを一度垂直にしてから、アンテナ先端の溝と PC カード本体のレールを合わせて、レールに溝をはめるようにアンテナをたおして収納してください。



手順の流れ

本 PC カードを使ってデータ通信を行うには、まずカードのセットアップを行わなければなりません。ここでは、インターネットに接続するまでのセットアップ手順の流れを図で説明しています。この手順に従って、設定を行ってください。

なお、この説明では、代表的な OS やソフトを使っていますが、使用環境によって多少異なる場合もあります。

１　カードをセットする

本 PC カードをパソコンにセットします。→２２ページ

２　カードを認識させる

本 PC カードをパソコンに認識させます。

Windows 95	→２３ページ
Windows 98	→２４ページ
Windows Me	→２７ページ
Windows 2000	→２９ページ
Windows XP	→３３ページ
Windows NT4.0	→３６ページ
Windows CE	→３８ページ
各種 PDA	→３８ページ
Macintosh	→３９ページ

３　ブラウザやメールソフトのインストール

WWW や E-mail サービスなどに対応したソフトのインストールを行います。

これらのソフトは、ご使用のパソコンにあらかじめインストールされているものもあります。

インスール方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

なお、この手順は、１、２の手順と前後することもあります。

４　プロバイダの電話番号・DNS アドレスの各種設定する

プロバイダに加入すると、インターネットに接続するために必要な情報を入手することができます。
プロバイダの電話番号、DNS サーバアドレスを手元にひかえ、各種設定をしてください。
なお、Windows NT の場合は、使用環境によって設定方法が異なりますので、お使いのパソコンや OS の取扱説明書などをご覧ください。

Windows 95　　→４１ページ
Windows 98　　→４１ページ
Windows Me　　→４１ページ
Windows 2000　　→４６ページ
Windows XP　　→５１ページ
Windows CE　　→５７ページ
各種 PDA　　→６０ページ
Macintosh　　→６１ページ

５　インターネットに接続する

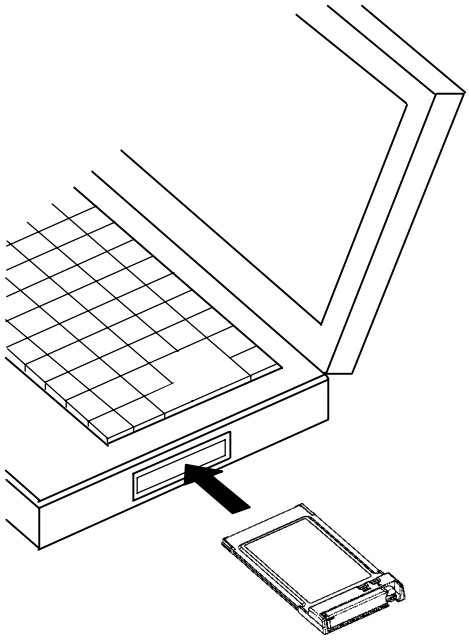
ダイヤルアップ接続して、インターネットサービスプロバイダに接続します。プロバイダから取得したユーザ ID とパスワードを手元にひかえ、設定してください。なお、Windows NT、各種 PDA の場合は、使用環境や OS によって設定方法が異なりますのでお使いのパソコンや OS、各種 PDA の取扱説明書などをご覧ください。

Windows 95　　→６２ページ
Windows 98　　→６２ページ
Windows Me　　→６２ページ
Windows 2000　　→６３ページ
Windows XP　　→６４ページ
Windows CE　　→６５ページ
Macintosh　　→６６ページ

カードをセットする

１　パソコンの電源をＯＦＦにします。

２　パソコンのＰＣカードスロットに本ＰＣカードを挿入します。



カードを認識させる

Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５の場合

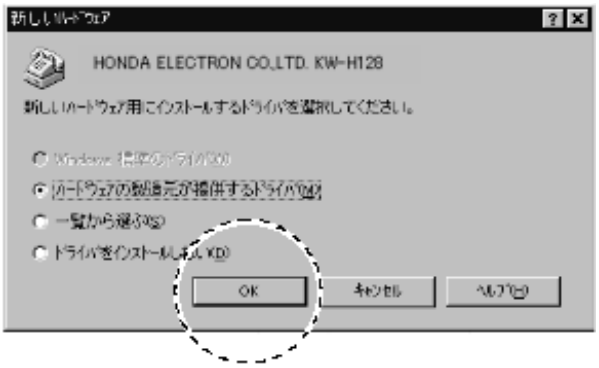
１　パソコンの電源を ON にし、Windows95 を起動します。

Windows 95 のバージョンによって、この後に表示されるダイアログボックスが異なります※。

※「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示された場合

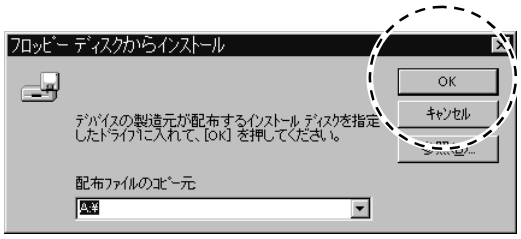
２　[ハードウェアの製造元が供給するドライバ（Ｍ）]を選択し、[OK]をクリックします。

「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。



３　本ＰＣカードに付属しているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入し、

[配布ファイルのコピー元に]にＣＤ－ＲＯＭドライブ（Ｄ：など）を指定し、[ＯＫ]をクリックします。



※「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示された場合

２　本ＰＣカードに付属されているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入し[次へ]をクリックします。

３　[ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８]が表示されるのを確認し、[完了]をクリックします。

注意：セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入すると、自動でパソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込みます。パソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップ出来ないことがありますのでＣＤ－ＲＯＭの読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

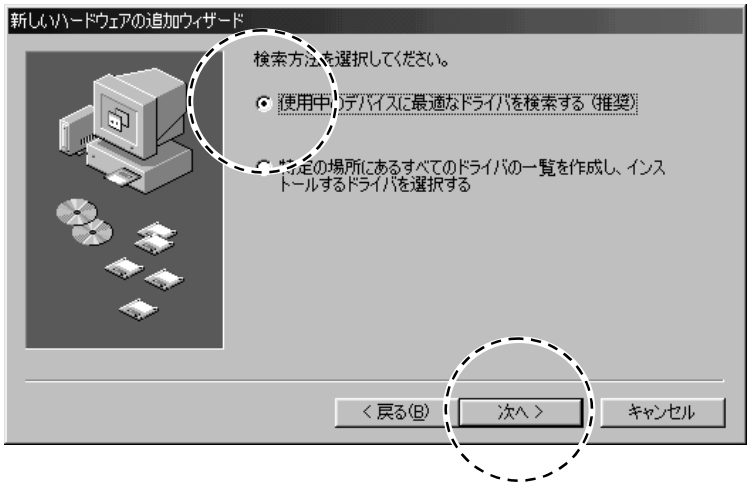
４　［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］の中の［モデム］をダブルクリックします。
［モデムのプロパティ］に「HONDA ELECTRON CO.,LTD.KW-H128」の表示があれば、本 PC カードの準備設定は完了です。
一度設定すれば、以降は本 PC カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、６０ページのフローに従って確認を行い､再度設定してください。
ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　⇒４０ページ

Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８の場合

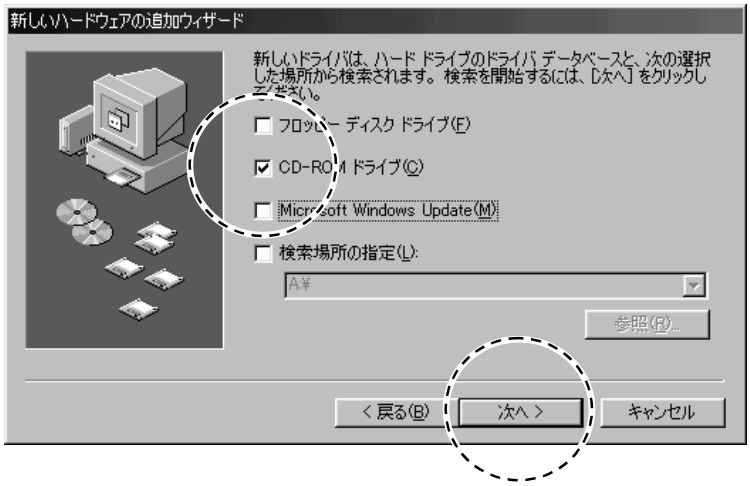
１　パソコンの電源をＯＮにし、Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８を起動します。
本ＰＣカードをパソコンのＰＣカードスロットに挿入します。
「新しいハードウェアを検出しました」というダイアログボックスが表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

２　［次へ］をクリックします。

３　［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］にチェックして、［次へ］をクリックします。



４　［ＣＤ－ＲＯＭドライブ］のチェックボックスにチェックし、本ＰＣカードに付属されている
ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入して、［次へ］をクリックします。



注意：セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入すると、自動でパソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込みます。パソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップ出来ないことがありますのでＣＤ－ＲＯＭの読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

５　［次へ］をクリックします。

６　［完了］をクリックします。

一度設定すれば、以降は本 PC カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、６０ページのフローに従って確認を行い、再度設定してください。

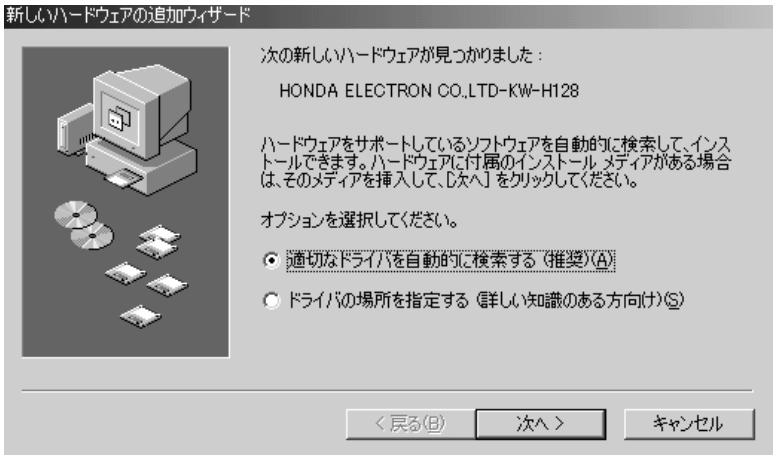
ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　→４０ページ

Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅの場合

注意：セットアップする前に、お使いのパソコンにＷｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅがプリインストールされているか確認してください。
インストールされていない場合は、Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅをインストールして使用できるかパソコンメーカーに必ずご確認ください。またその際は、必ずパソコンメーカーの指示（ＢＩＯＳアップデートなど）を守って、インストールしてください。

１　パソコンの電源をＯＮにし、Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅを起動します。

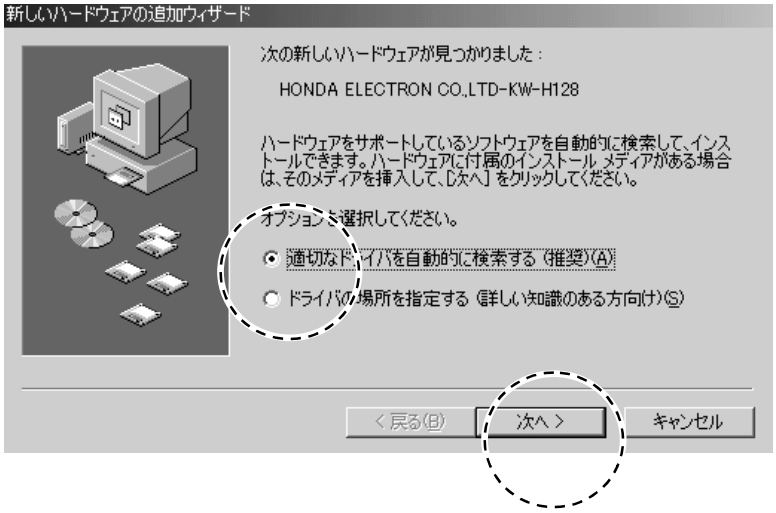
２　本ＰＣカードをパソコンのＰＣカードスロットに挿入します。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



３　本ＰＣカードに付属されているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入します。

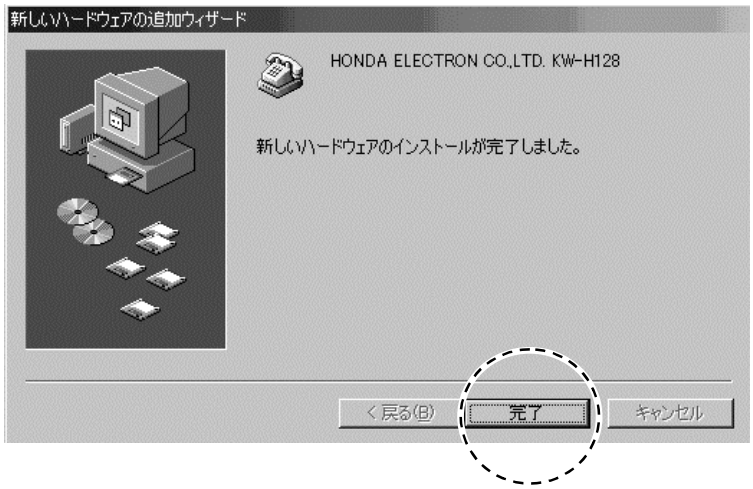
注意：セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入すると、自動でパソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込みます。パソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップ出来ないことがありますのでＣＤ－ＲＯＭの読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください

４　「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスの［適切なドライバを自動的に検索する］のチェックボックスにチェックがついていることを確認した上で［次へ］をクリックします。



５　Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅが自動的にドライバファイルを検出し、次の画面が表示されます。

６　次の画面が表示されたら［完了］をクリックします。これで認識作業は完了です。



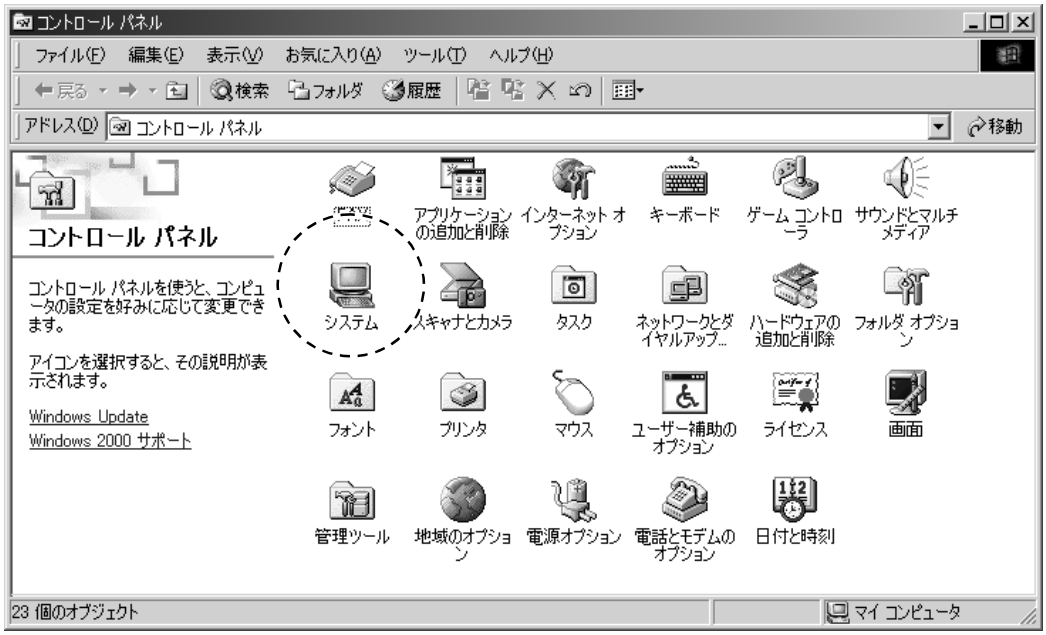
一度設定すれば、以降は本 PC カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、６０ページのフローに従って確認を行い、再度設定してください。

ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　→４０ページ

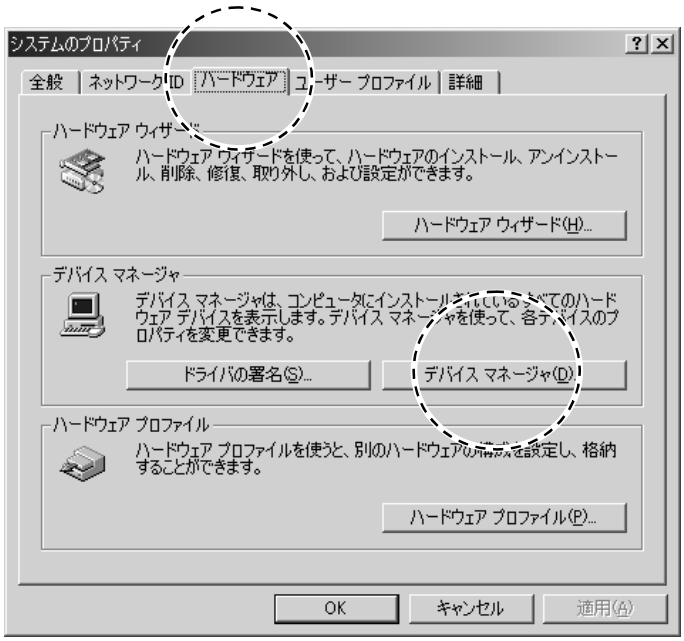
Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００の場合

１　本ＰＣカードをパソコンのＰＣカードスロットに挿入した状態で、パソコンの電源をＯＮにし、Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００を起動します。
「新しいハードウェアが見つかりました」というダイアログボックスが表示された後、
「標準 PCMCIA カードモデム」としての認識作業が一旦終了します。

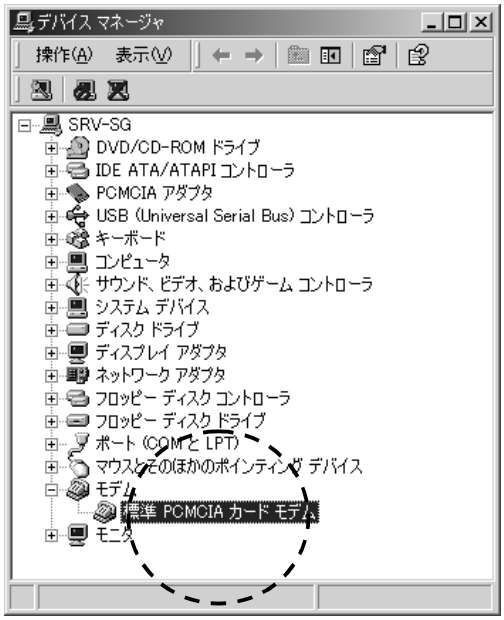
２　デスクトップ画面上から［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］と開いていくと、「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。この中の［システム］をダブルクリックします。「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます



３　「ハードウェア」をクリックして［デバイスマネージャ］をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。



４　［モデム］をダブルクリックした上で、［標準ＰＣＭＣＩＡカードモデム］をダブルクリックします。
「標準 PCMCIA カードモデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



注意：「標準ＰＣＭＣＩＡカードモデム」が複数登録されている場合、「標準ＰＣＭＣＩＡカードモデムのプロパティ」ウィンドウ（５の図を参照）を開き「診断」タブをクリックして、表示されるウィンドウの「モデム情報」欄に下記のリストが表示されているのを確認した上で、以降の作業に進んでください。

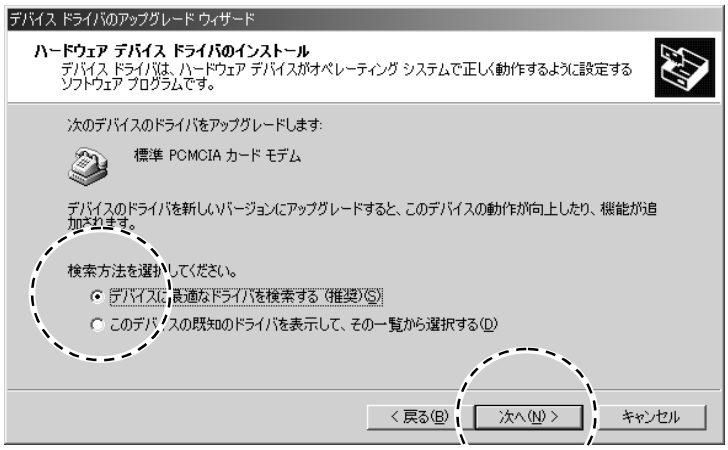
PCMCIA￥HONDA ELECTRON CO.,LTD.KW-H128-XXXX

（XXXX の部分はカードにより異なることがあります。）

５　［ドライバ］タブをクリックして、［ドライバの更新］をクリックします。
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

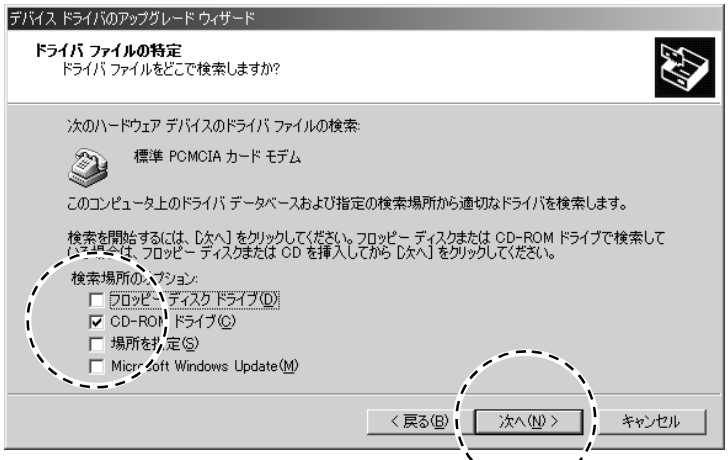
6　［次へ］をクリックします。

7　［デバイスに最適なドライバを検索する］のチェックボックスにチェックがついていることを確認し、
［次へ］をクリックします。



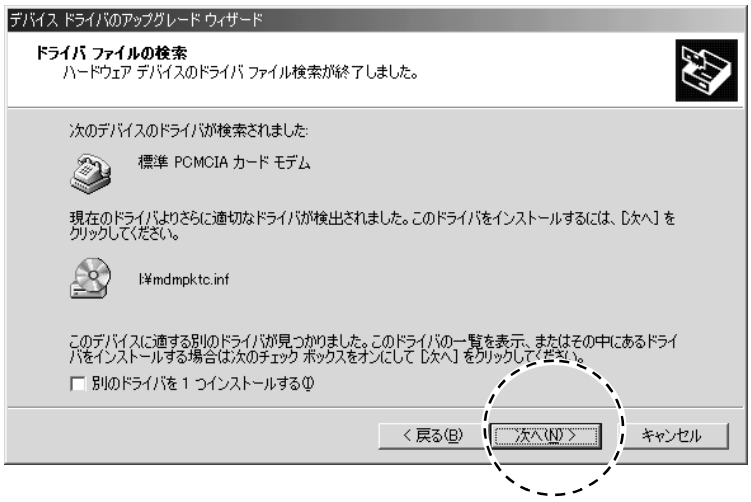
8　ＰＣカードに付属されているＣＤ-ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入します。

9　［ＣＤ－ＲＯＭドライブ］にチェックがついているのを確認し、［次へ］をクリックします。
チェックがついていない場合は［ＣＤ－ＲＯＭドライブ］をクリックし、チェックをつけてください。

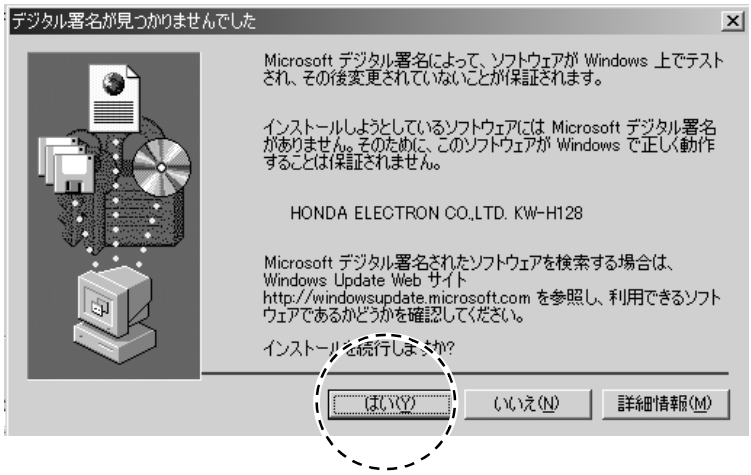


注意：セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入すると、自動でパソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込みます。パソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップ出来ないことがありますのでＣＤ－ＲＯＭの読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

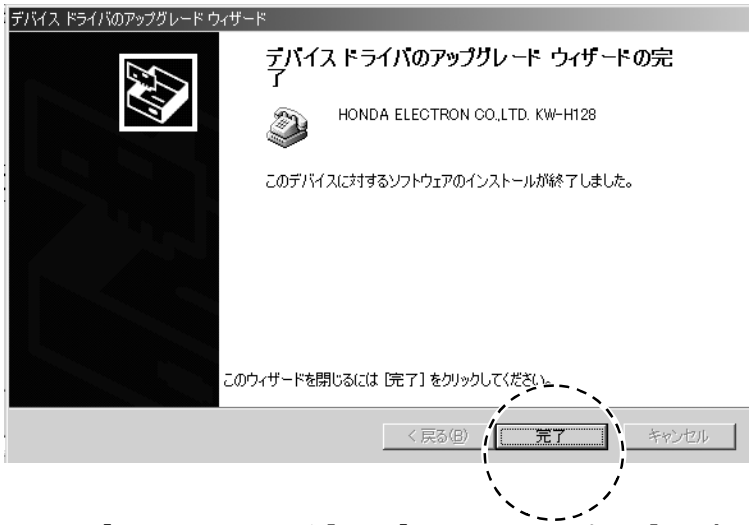
１０　［次へ］をクリックします。



１１．［デジタル署名が見つかりませんでした］というウィンドウが表示されますが、［はい］をクリックしてインストールを続行します。



１２　［完了］をクリックします。



１３　［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］の中の［電話とモデムのオプション］をダブルクリックします。[モデム]タブをクリックし、モデム表示の中にカードの表示があれば、本 PC カードの準備設定は完了です。

一度設定すれば、以降は本 PC カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、７１ページのフローに従って確認を行い、再度設定してください。

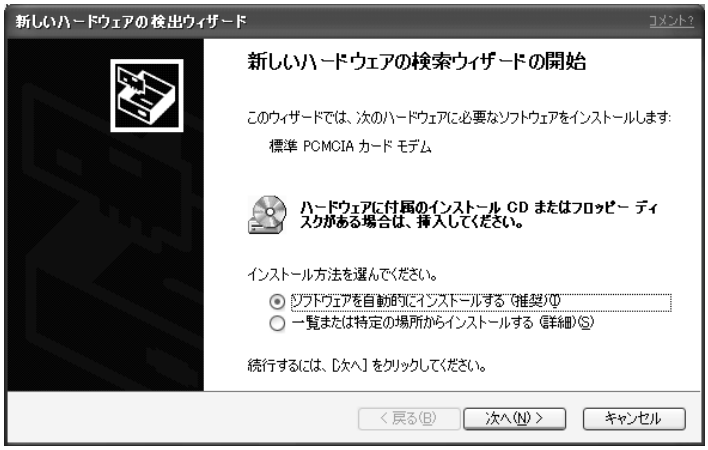
プロバイダの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　→４０ページ

Ｗｉｎｄｏｗｓ　XP の場合

注意：セットアップする前に、お使いのパソコンにＷｉｎｄｏｗｓ　XP がプリインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、Ｗｉｎｄｏｗｓ　XP をインストールして使用できるかパソコンメーカーに必ずご確認ください。またその際は、必ずパソコンメーカーの指示（ＢＩＯＳアップデートなど）を守って、インストールしてください。

１　パソコンの電源をＯＮにし、Ｗｉｎｄｏｗｓ　XP を起動します。

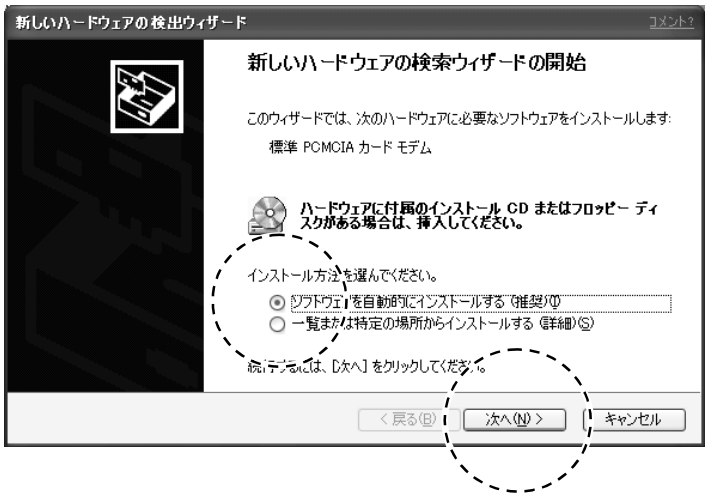
２　本ＰＣカードをパソコンのＰＣカードスロットに挿入します。
「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



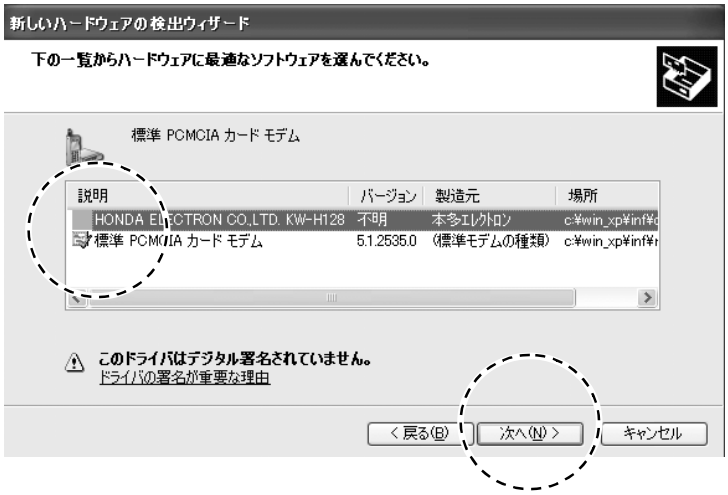
３　本ＰＣカードに付属されているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブ挿入します。

注意：セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入すると、自動でパソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込みます。パソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップ出来ないことがありますのでＣＤ－ＲＯＭの読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

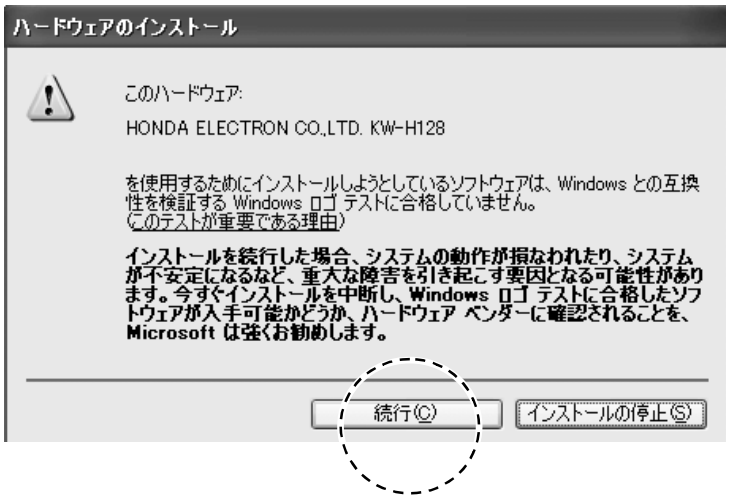
4　「新しいハードウェアの検索ウィザード」ダイアログボックスの［ソフトウェアを自動的にインストールする］のチェックボックスにチェックがついていることを確認した上で［次へ］をクリックします。



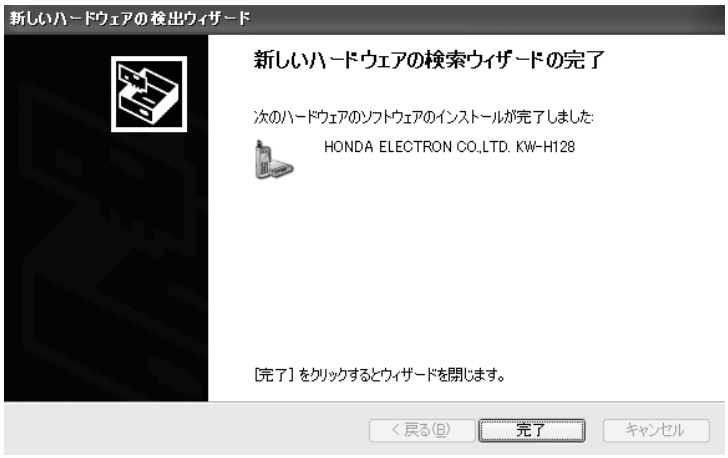
5　OS が自動的にドライバファイルを検出し、次の画面が表示されます。
「HONDA ELECTRON CO.,LTD.KW-H128」を選択し[次へ]をクリックします。



6　次のダイアログボックスが表示されたら[続行]をクリックし、インストールを続けます。



７　次の画面が表示されたら［完了］をクリックします。これで認識作業は完了です。



一度設定すれば、以降は本 PC カードを挿入するだけでカードが自動認識されます。認識がうまくいかない場合は、６０ページのフローに従って確認を行い、再度設定してください。

ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　→４０ページ

Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＮＴ４．０の場合

１　本ＰＣカードをパソコンのＰＣカードスロットに挿入した状態で、パソコンの電源をＯＮにし、Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＮＴを起動します。

２　デスクトップ画面上の[スタート]から[設定]→［コントロールパネル］と開いていくと、[コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。その中の［ＰＣカード（ＰＣＭＣＩＡ)］をダブルクリックします。

３　[ソケットの状態]で表示されている[ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ　ＫＷ－Ｈ１２８]を選択し、[プロパティ（Ｒ）]をクリックします。
［ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ　ＫＷ－Ｈ１２８プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

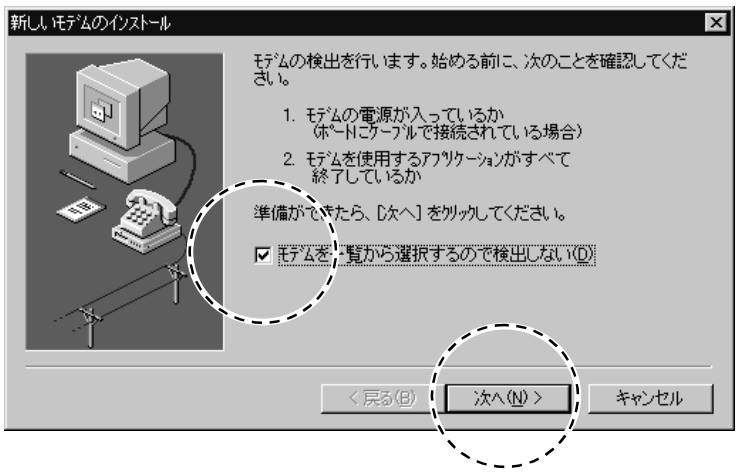
４　［カード情報］タブの中に表示させている［デバイスマップ］のＣＯＭ番号を確認し、［ＯＫ］をクリックします。（下記はデバイスマップが［ＣＯＭ２］の場合の例です。実際は機種により異なります。）

５　［コントロールパネル］の中の［モデム］をダブルクリックして開くと、「モデムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。ここで[追加]をクリックします。

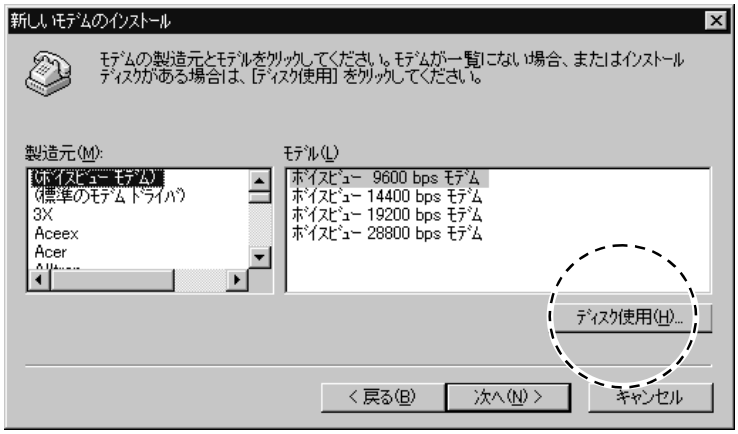
6　本ＰＣカードに付属されているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入します。

注意：セットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入すると、自動でパソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込みます。パソコンがＣＤ－ＲＯＭを読み込んでいる最中にセットアップを行うと、正常にセットアップ出来ないことがありますのでＣＤ－ＲＯＭの読み込みが終わるまで数秒待ってから次の手順に進んでください。

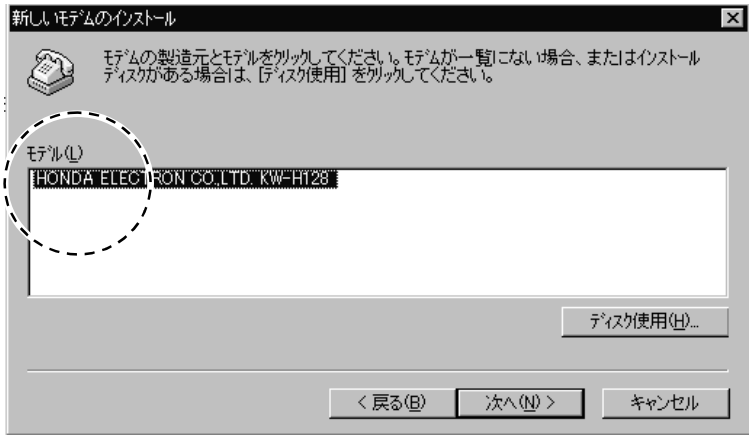
7　[モデムを一覧から選択するので検出しない]のチェックボックスをチェックし、[次へ]をクリックします。



8　[ディスク使用]をクリックして、配布ファイルのコピー元としてＣＤ－ＲＯＭドライブ（Ｄ：など）を指定し、[ＯＫ]をクリックします。

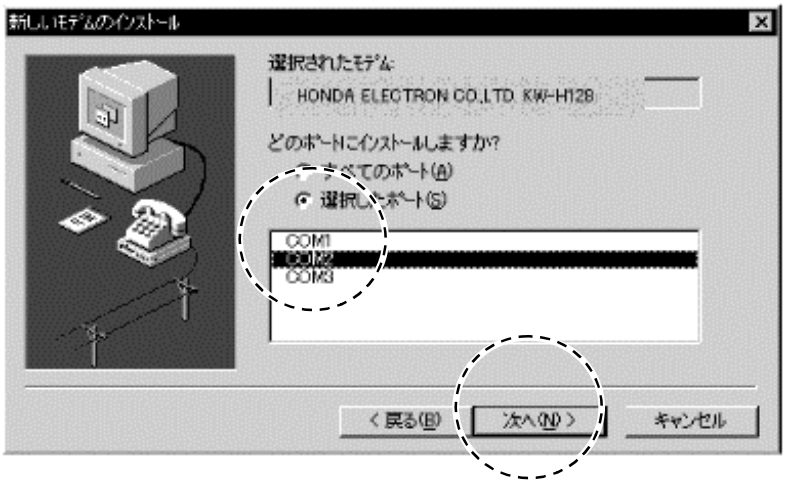


9　表示される一覧から[ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ　ＫＷ－Ｈ１２８]を選択して[次へ]をクリックします。



１０　手順４で事前に確認しておいたＣＯＭ番号を指定し、[次へ]をクリックします。

（指定するＣＯＭ番号は機種により異なります。）



１１　[完了]をクリックします。
　　これで準備設定は完了です。

注意：Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＮＴ４．０はプラグアンドプレイに対応していません。このため、認識作業中またはご使用中に本ＰＣカードを抜き差しすると、パソコンを再起動するまで本ＰＣカードは認識されなくなります。また、Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＮＴ４．０は、使用環境によって接続方法が異なりますので、お使いのパソコンやＯＳの取扱説明書などをご覧になって設定してください。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＣＥ・各種ＰＤＡの場合

Windows CE は、カードを認識させるための設定は特に必要なく、本 PC カードを挿入するだけで認識します。PDA の場合は、カードの認識方法が PDA により異なりますので、それぞれの PDA の取扱説明書をご覧になって、カードを認識させてください。

ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　→４０ページ（Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＣＥ）
→４０ページ（各種ＰＤＡ）

Ｍａｃｉｎｔｏｓｈの場合・

１　本ＰＣカードに付属されているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭをＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入し、ＣＣＬフォルダに入っている「ＣＣＬファイル」を［システムフォルダ］→［拡張機能］の中の［ＭｏｄｅｍＳｃｒｉｐｓ］フォルダへコピーします。

注意：ＯＳによってはあらかじめＣＣＬファイルがインストールされている場合があります。この場合、ＣＣＬファイルのコピー操作は必要ありません。

２　Ｍａｃｉｎｔｏｓｈを再起動します。
これで準備は完了です。

プロバイダの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする。　→　４０ページ

ＫＷＩＮＳの電話番号・ＤＮＳアドレスの各種設定をする

本ＰＣカードを使ってＫＷＩＮＳに接続する場合の具体的な設定例について説明します。

ここでは、以下のものが必要となります。

・ＫＷＩＮＳの電話番号

・ＤＮＳアドレス（ネームサーバーアドレス）（インターネットアクセスの場合にみ）

お使いのＯＳに応じて情報の設定を行ってください。

Windows 95/98/Me の場合　→４１ページ

Windows 2000 の場合　→４６ページ

Windows XP の場合　→５１ページ

Windows CE の場合　→５７ページ

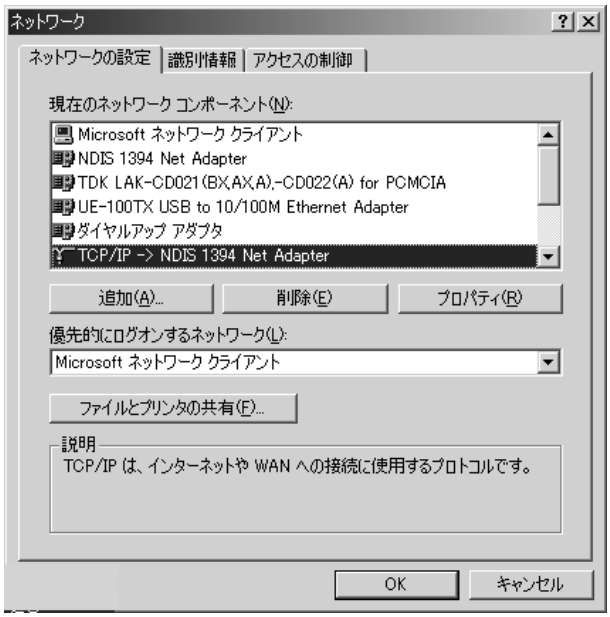
各種 PDA の場合　→６０ページ

Macintosh の場合　→６１ページ

Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５/９８/Ｍｅの場合

ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークを使います。ダイヤルアップネットワークがお使いのパソコンにインストールされていない場合は、Windows95/98/Me それぞれのマニュアルをご覧になって、インストールしてください。すでにインストールされている場合は、次の手順で進んでください。
なお、ここでは Windows Me の画面を使って説明しますが、Windows 95 および Windows98 でも操作はほぼ同じです。操作の違う箇所に関しては、その手順内で説明します。

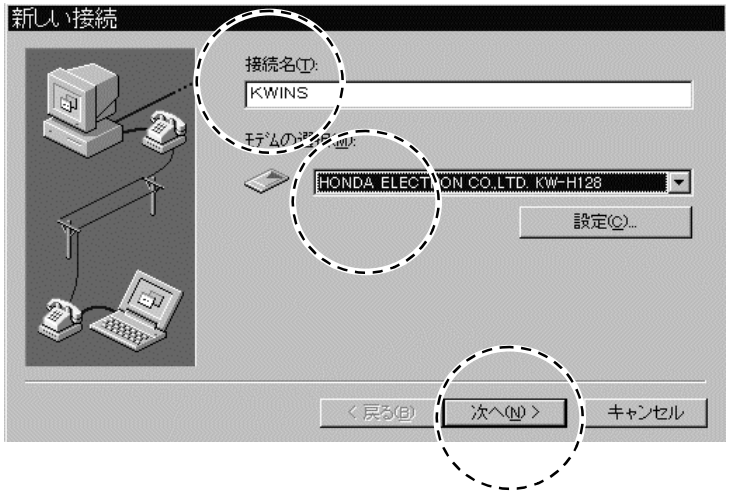
１　デスクトップ画面上から［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］とアイコンをダブルクリックしていきます。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されますので、「現在のネットワークコンポーネント」のリストに TCP/IP のコンポーネントが設定されていることを確認してください。確認が済んだら[ＯＫ]をクリックして、「コントロールパネル」ウィンドウに戻りますので「コントロールパネル」ウィンドウを閉じてください。



注意：ＴＣＰ/ＩＰがインストールされていない場合は、[追加]をクリックして、ＴＣＰ/ＩＰをインストールしてください。インストール方法については、Windows　95/98/Ｍｅのマニュアルをご覧ください。

２　デスクトップ画面上から［スタート］から［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ダイヤルアップネットワーク］（Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５の場合は［スタート］から［プログラム］→［アクセサリ］→［ダイヤルアップネットワーク］）と開いていくと、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されるとともに、「ダイヤルアップネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
ここで［次へ］をクリックします。
すでにダイヤルアップネットワークを使用している場合は、［新しい接続］をダブルクリックして３に進んでください。

３　［接続名］としてプロバイダの名称や通信方式など（例：ＫＷＩＮＳ）を入力し、［モデムの選択］で「ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８」を選択して［次へ］をクリックします。

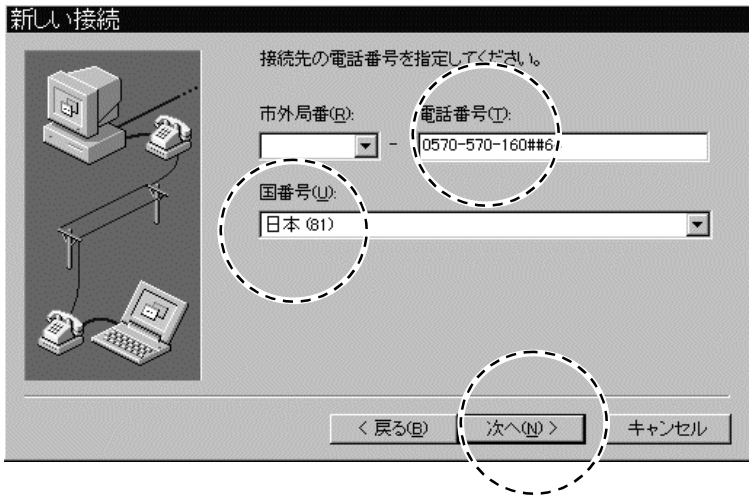


注意：［モデムの選択］で［ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８］が表示されない場合、お使いのパソコンに本ＰＣカードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、［キャンセル］をクリックして、この手順を一時中断し、本ＰＣカードを認識させてください。
→　２３、２４、２７ページ

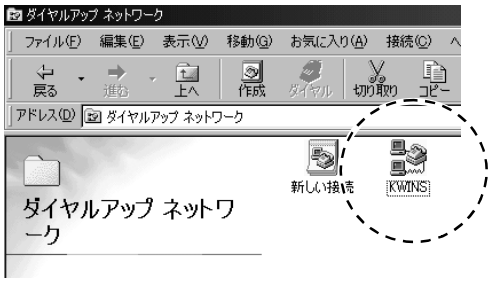
4　契約したプロバイダの通信方式が確認できたら、ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。
市外局番の欄は空欄にしておいてください。電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0570-570-160）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃６ｎを加えてください。

３２ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６１
１２８ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６４

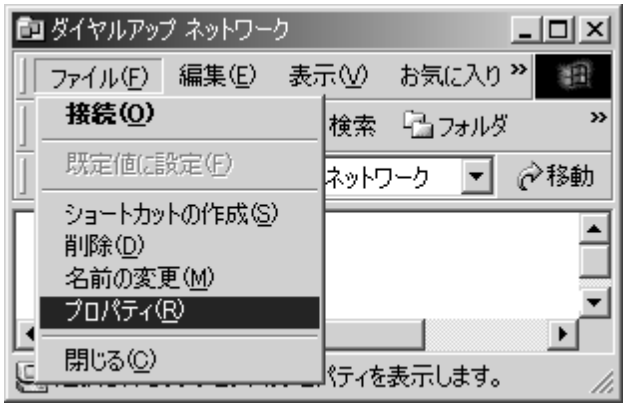
国番号は［日本（81)］を選択し、［次へ］をクリックしてください。



5　［完了］をクリックして、ウィザードを終了します。
「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に手順 3 で指定した名前のアイコンが作成されます。



6　「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内に作成されたアイコンをクリックし、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。



7　［市外局番とダイヤルのプロパティを使う］チェックボックスのチェックをはずし、［ネットワーク］タブをクリックします。

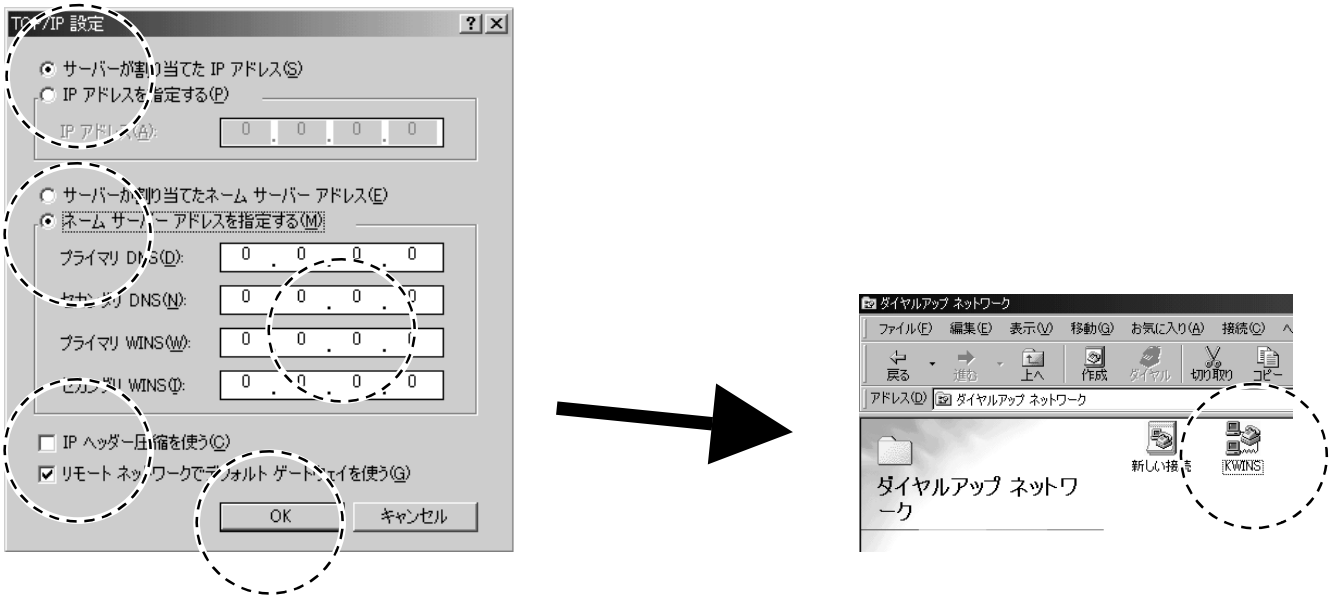
Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５の場合は、［国番号と市外局番を使う］チェックボックスのチェックをはずし、［サーバーの種類］をクリックします。Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８の場合は、［市外局番とダイヤルのプロパティを使う］のチェックボックスのチェックをはずし、［サーバーの種類］タブをクリックします。

8　サーバーの種類は［ＰＰＰ：インターネット、Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００/NT、Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｅ］を選択し、詳細オプションは全てチェックをはずします。使用できるネットワークプロトコルで［ＴＣＰ/ＩＰ］のみを選択し、［ＴＣＰ/ＩＰ設定］をクリックします。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５の場合、サーバーの種類は［ＰＰＰ：Ｗｉｎｄｏｗｓ９５、...］を選択し、詳細オプションは全てチェックをはずします。使用できるネットワークプロトコルで［ＴＣＰ/ＩＰ］のみを選択し、［ＴＣＰ/ＩＰ設定］をクリックします。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８の場合は、[ＰＰＰ：インターネット、Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＮＴ　Ｓｅｒｖｅｒ、Ｗｉｎｄｏｗｓ９８］を選択し、詳細オプションは全てチェックをはずします。使用できるネットワークプロトコルで［ＴＣＰ/ＩＰ］のみを選択し、[ＴＣＰ/ＩＰ設定］をクリックします。

９　[サーバーが割り当てたＩＰアドレス］[ネームサーバーアドレスを指定する］[リモートネットワークでデフォルトゲートウェイを使う］のチェックボックスにチェックをつけ、[ＩＰヘッダー圧縮を使う]のチェックボックスはチェックをはずします。また、[ネームサーバーアドレスを指定する］では、プロバイダから取得してあるネームサーバーアドレスを入力します。（プロバイダによっては設定が異なる場合があります。プロバイダにご確認ください。）設定が完了したら、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、次のようなアイコンが表示されるまで［ＯＫ］を続けてクリックします。
このアイコンが表示されれば、設定は完了です。



インターネットに接続する　⇒　６２ページ

注意：プロバイダからネームサーバーアドレスが指定されていない場合や、接続ができない場合は、「サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス（Ｅ）」を指定して下さい。

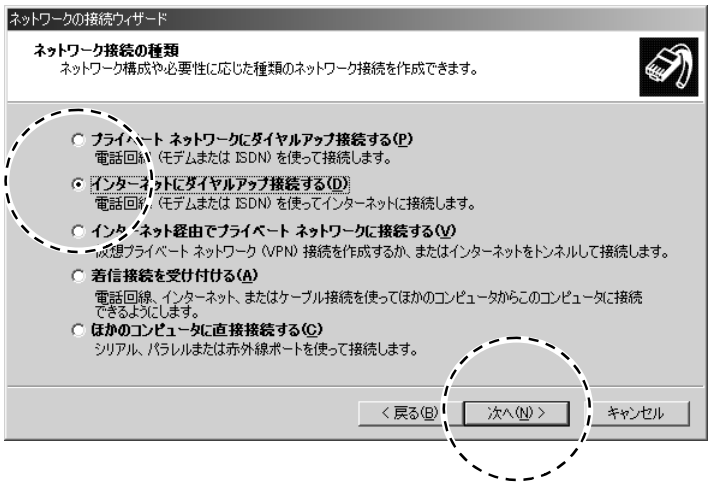
Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００の場合

ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークおよび TCP/IP を使います。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Windows 2000 のマニュアルをご覧になって、インストールしてください。すでにインストールされている場合は、次の手順で進んでください。

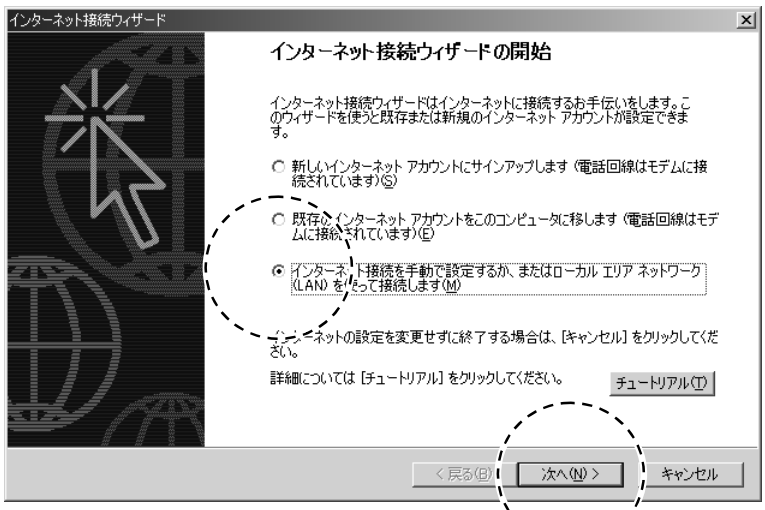
１　デスクトップ画面上の［スタート］から［プログラム］→[アクセサリ]→［通信］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］と開いていくと、「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。このウィンドウ内にある［新しい接続の作成］をダブルクリックします。
「ネットワークの接続ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

２　［次へ］をクリックします。

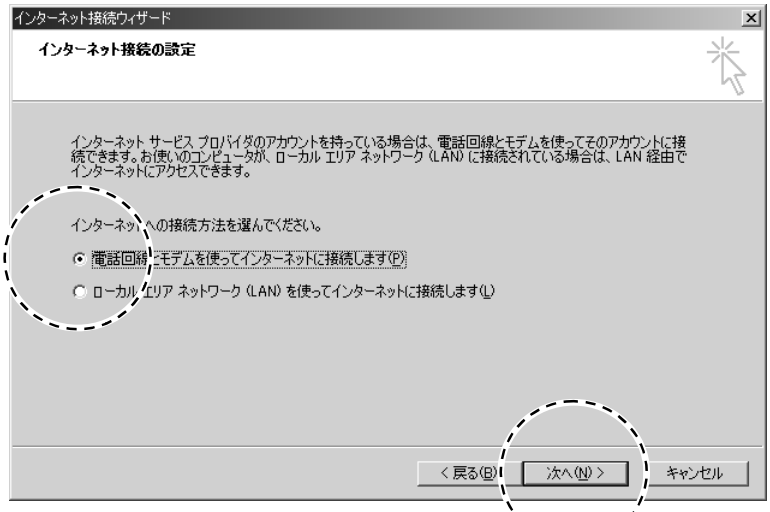
3　［インターネットにダイヤルアップ接続する］チェックボックスにチェックして［次へ］をクリックします。
「インターネットの接続ウィザード」ウィンドウが表示されます。



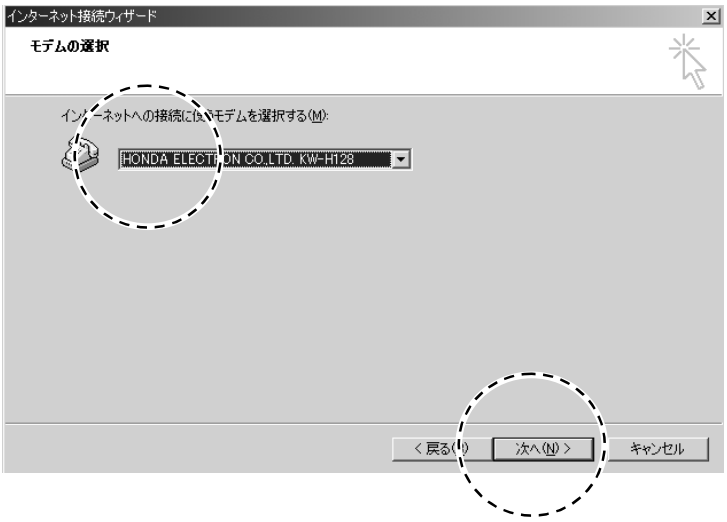
4　［インターネットを手動で設定するかローカルエリアネットワークを使って接続します］チェックボックスにチェックして［次へ］をクリックします。



5　［電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します］チェックボックスにチェックして［次へ］をクリックします。



６　［モデムの選択］で「ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８」を選択して、[次へ］をクリックします。内蔵モデムなど他のモデムがインストールされていない場合は、この画面が表示されませんので手順７へ進んでください。

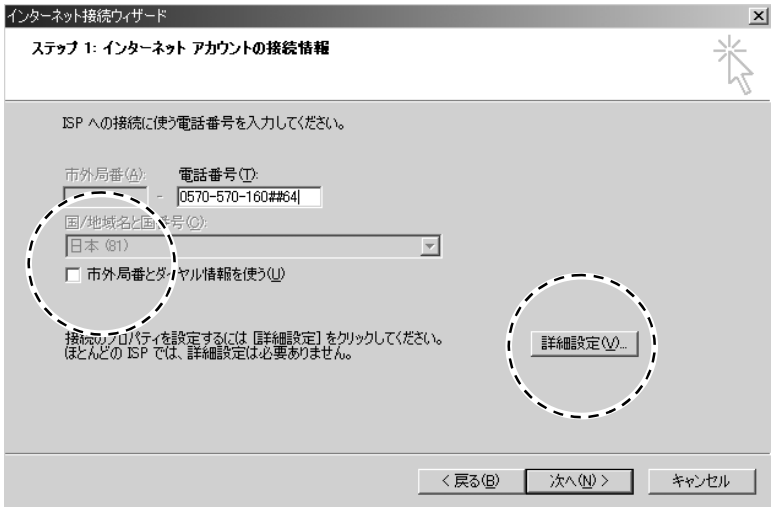


注意：[モデムの選択］で［ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８］が表示されない場合、お使いのパソコンに本ＰＣカードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、[キャンセル］をクリックして、この手順を一時中断し、本ＰＣカードを認識させてください。→１９ページ

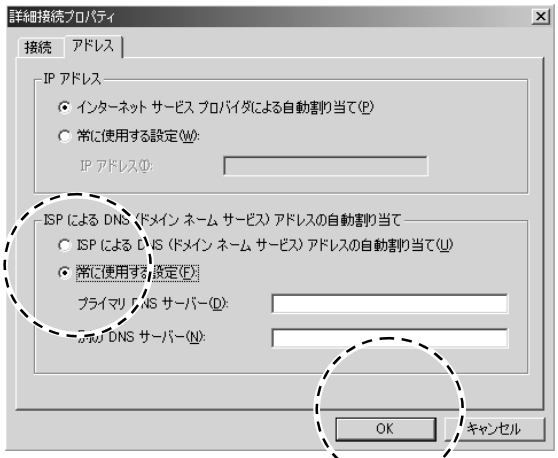
７　ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。市外局番の欄は空欄にしておいてください。電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0570-570-160）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃６ｎを加えてください。

３２ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６１
１２８ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６４

国番号は［日本（81)］を選択し、[市外局番とダイヤル情報を使う]チェックボックスのチェックをはずして[詳細設定]をクリックしてください。



８　[アドレス]タブにある[ＩＳＰによるＤＮＳ（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て]にある[常に使用する設定]チェックボックスにチェックをつけ、ＤＮＳサーバーのアドレスを入力し、［ＯＫ］をクリックします。

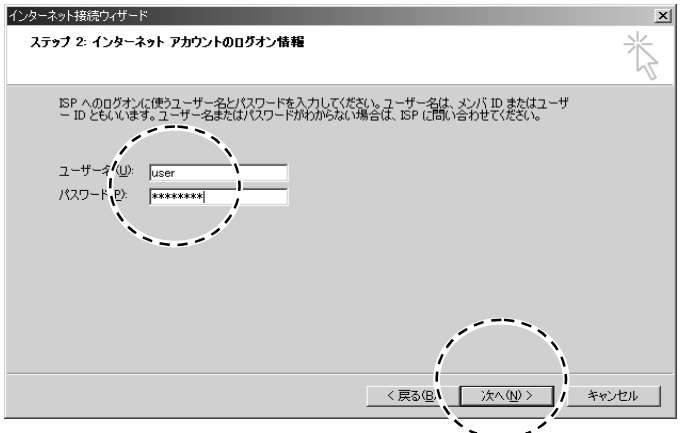


注意：プロバイダからネームサーバーアドレスが指定されていない場合や、接続ができない場合は、「ＩＳＰによるＤＮＳ（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て（Ｕ）」を指定してください。

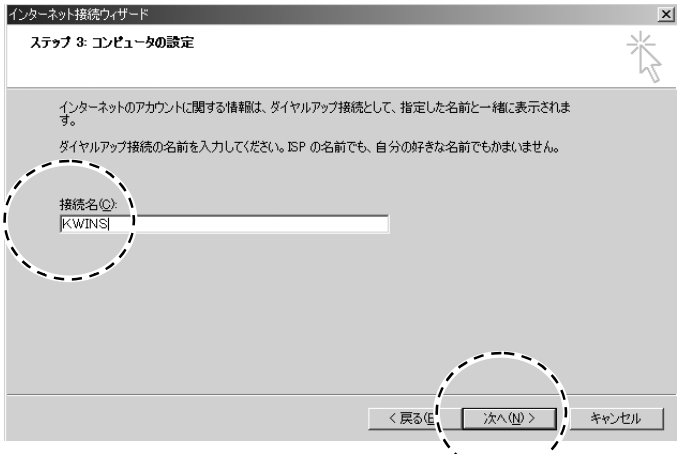
９　手順８の画面に戻りますので[次へ]をクリックします。

注意：[次へ]をクリックした後に電話番号の入力についてエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、[戻る]をクリックして８の画面まで戻り、“＃＃６ｎ”の入力を削除して設定を進めてください。

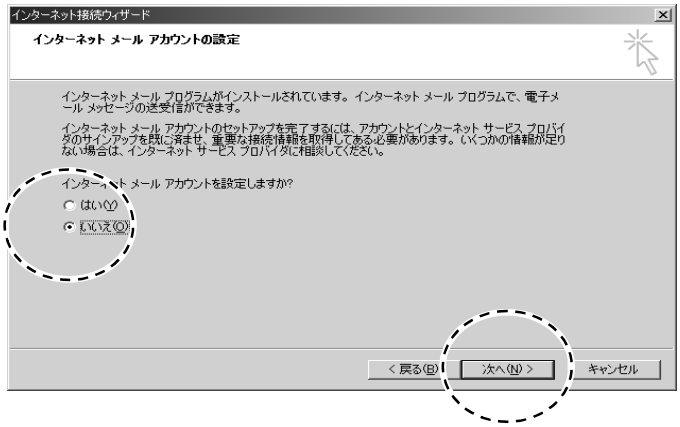
１０　インターネットアカウントのログオン情報（ユーザー名/パスワード）を入力し、[次へ]をクリックします。



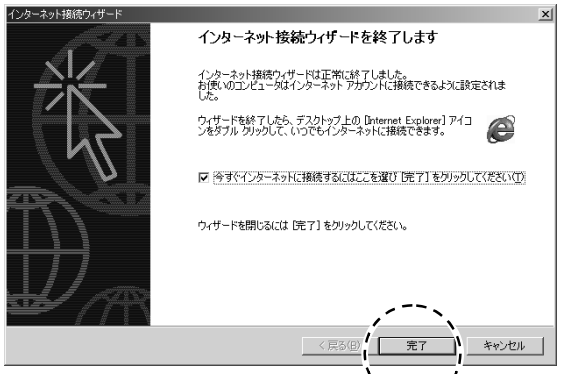
１１　接続名として、プロバイダの名称や通信方式など（例：ＫＷＩＮＳ）を入力して、[次へ]をクリックします。

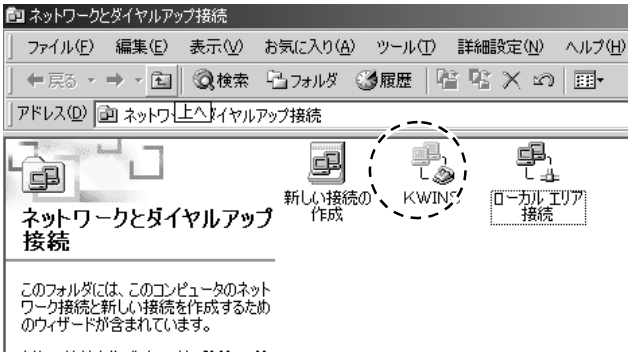


１２　［いいえ］チェックボックスにチェックをつけ、［次へ］をクリックします。
（メールアカウントの設定は、後からインターネット接続ウィザードを起動して設定することができます。）



１３　［完了］をクリックして、ウィザードを終了します。
「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウ内に１２で指定した名前のアイコンが作成されています。下記画面で[今すぐインターネットに接続するには...]チェックボックスにチェックがついていると、[ダイヤルアップの接続]ダイアログボックスが表示されます。





インターネットに接続する　→６３ページ

注意：[１０]で“＃＃６ｎ”が入力できなかった場合、作成されたアイコンを右クリックして表示されるメニューからプロパティを選択して表示させます。プロパティ画面・“全般”タブ中の電話番号入力欄に、“＃＃６ｎ”を追加入力して[ＯＫ]をクリックしてください。

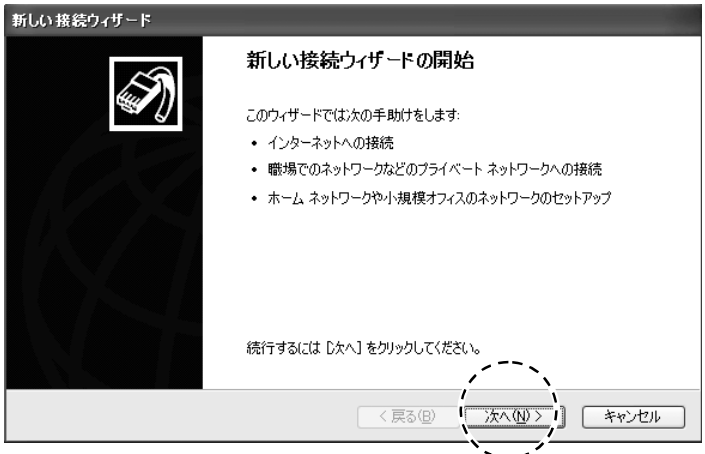
Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰの場合

ネットワークに接続するためには、通常ダイヤルアップネットワークおよび TCP/IP を使います。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Windows XP のマニュアルをご覧になって、インストールしてください。すでにインストールされている場合は、次の手順で進んでください。

１　デスクトップ画面上の［スタート］から［すべてのプログラム（Ｐ）］→［アクセサリ］→［通信］→［ネットワーク接続］と開いていくと、「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。このウィンドウ内にある［新しい接続の作成］をダブルクリックします。

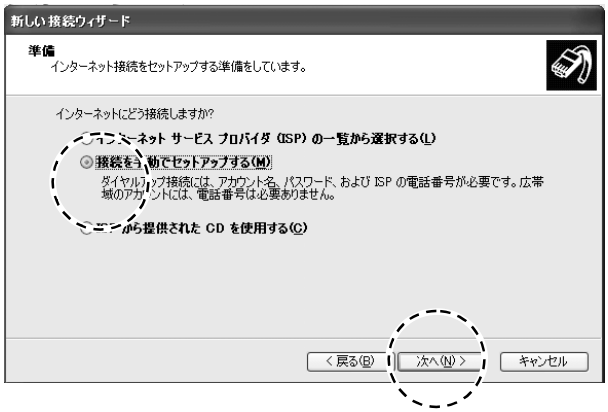
「ネットワークの接続ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

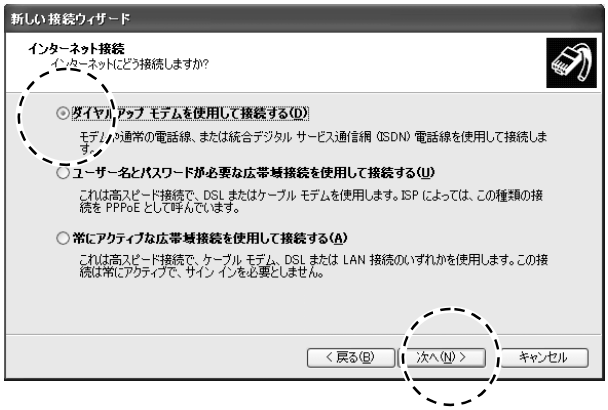
２　［次へ］をクリックします。



3　［インターネット接続］のチェックボックスにチェックして［次へ］をクリックします。

4　［接続を手動でセットアップする］のチェックボックスにチェックして［次へ］をクリックします。
［ダイヤルアップモデムを使用して接続する］のチェックボックスにチェックして［次へ］
をクリックします。





5　［デバイスの選択］で「ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８」を選択して、
［次へ］をクリックします。内蔵モデムなど他のモデムがインストールされていない場合は、この画面が表示されませんので手順６へ進んでください。

注意：[デバイスの選択]で［ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８が表示されない場合、お使いのパソコンに本ＰＣカードが正しく認識されていないことが考えられます。その場合は、［キャンセル］をクリックして、この手順を一時中断し、本ＰＣカードを認識させてください。

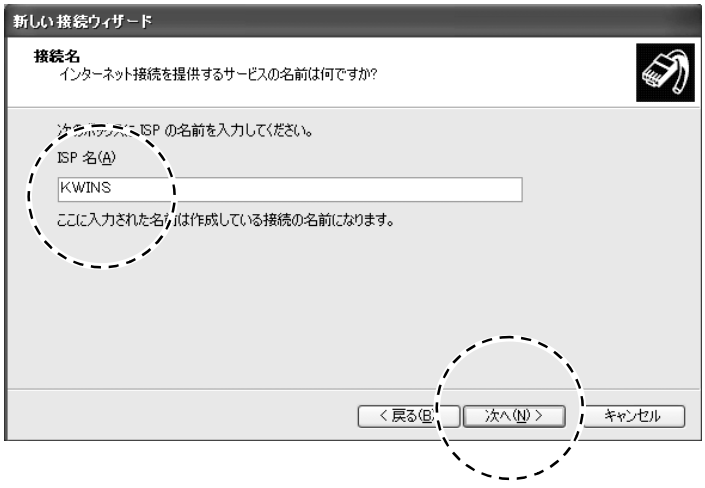
→　２３ページ

６　ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。市外局番の欄は空欄にしておいてください。電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号（例：0570-570-160）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃６ｎを加えて「次へ」をクリックします。

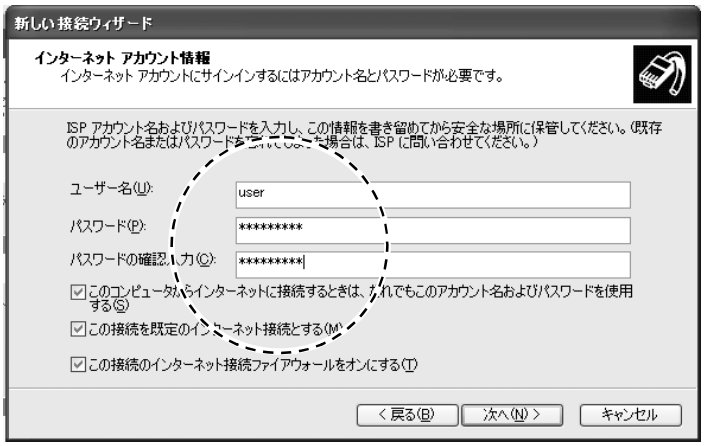
３２ｋパケット方式の場合：　　0570-570-160＃＃６１

１２８ｋパケット方式の場合：　　0570-570-160＃＃６４

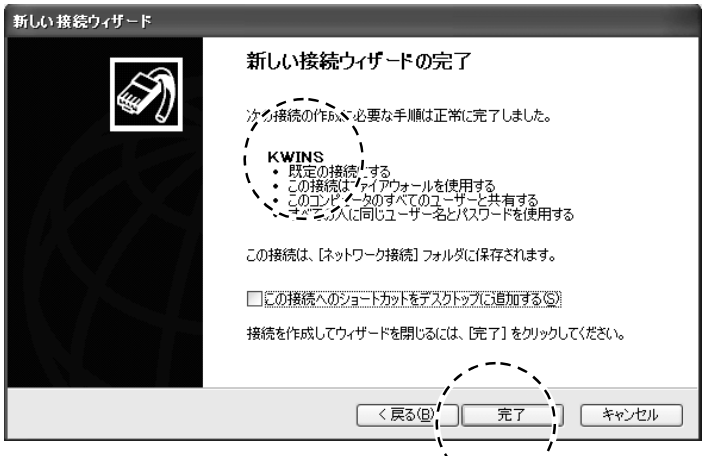
７　ＩＳＰ名としてプロバイダの名称や通信方式など（例：ＫＷＩＮＳ）を入力して「次へ」をクリックします。（ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。）

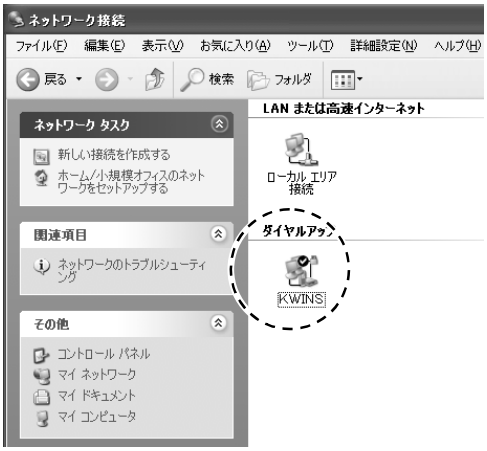


8　インターネットアカウントのログオン情報（ユーザー名／パスワード）を入力し、［次へ］をクリックします。



9　接続名として、プロバイダの名称や通信方式など（例：ＫＷＩＮＳ）を入力して、［完了］をクリックします。「ネットワーク接続」ウィンドウ内にアイコンが作成されています。

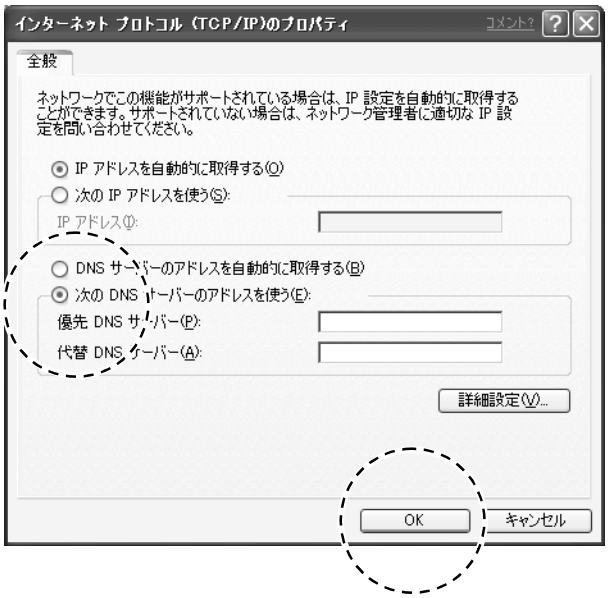


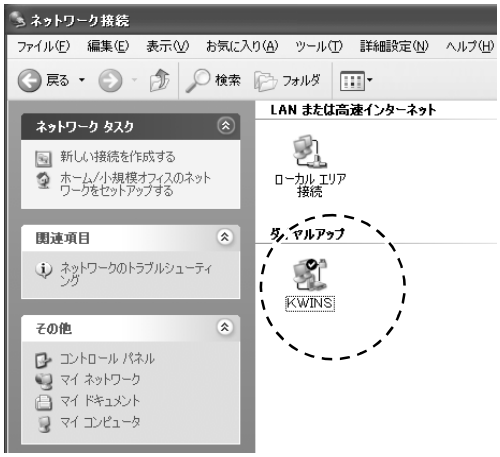


１０　「ネットワーク接続」ウィンドウ内に作成されたアイコン（例ではＫＷＩＮＳ）をクリックし、
[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
「ＫＷＩＮＳのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

１１　[ネットワーク]タブをクリックし、[この接続で使用するコンポーネント]でインターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）]を選択して、プロパティをクリックします。

１２　[次のＤＮＳサーバーのアドレスを使う]のチェックボックスにチェックをつけ、ＤＮＳサーバーのアドレスを入力します。設定が完了したら「ネットワーク接続」ウィンドウに次のようなアイコンが表示されるまで[ＯＫ]を続けてクリックします。このアイコンが表示されれば、設定は完了です。



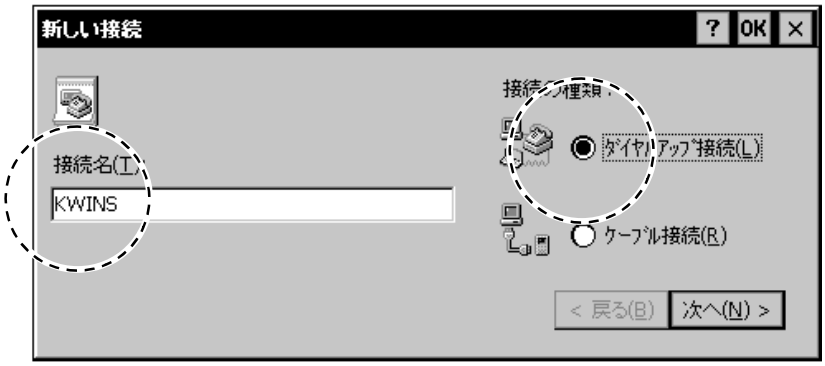


注意：プロバイダからネームアドレスが指定されない場合や、接続が出来ない場合は、「ＤＮＳサーバーのアドレスを自動的に取得する（Ｂ）」を指定してください。

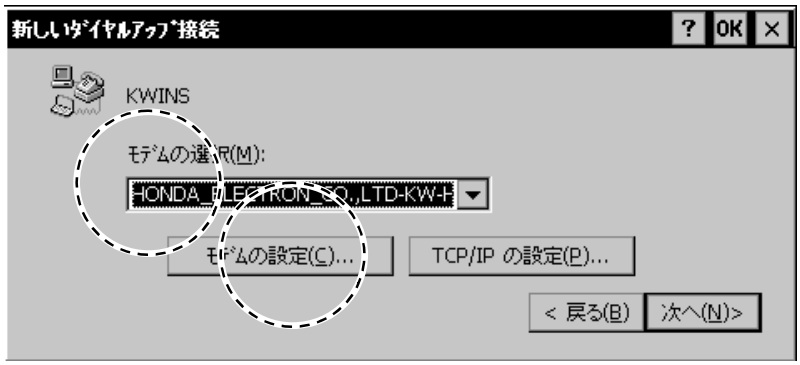
Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＣＥの場合

１　デスクトップ画面上の［スタート］から［プログラム］→［通信］→［リモートネットワーク］と開いていくと、「リモートネットワーク」ウィンドウが表示されます。その中の［新しい接続］をダブルクリックします。「新しい接続」ダイアログボックスが表示されます。

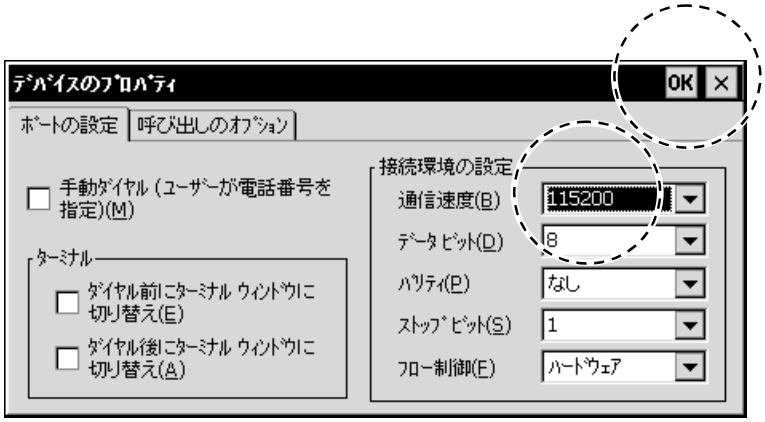
２　［接続名］としてプロバイダの名称や通信方式など（例：ＫＷＩＮＳ）を入力し、［ダイヤルアップ接続］チェックボックスにチェックして［次へ］をクリックします。



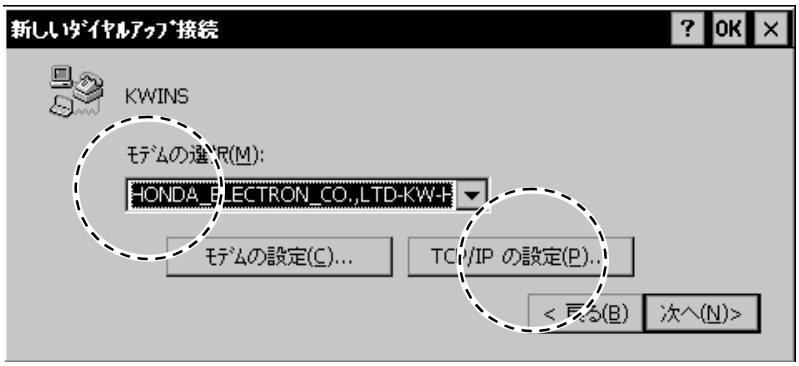
３　［モデムの選択］で「ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.，ＬＴＤ－ＫＷＨ－１２８」を選択し、［モデムの設定］をクリックします。



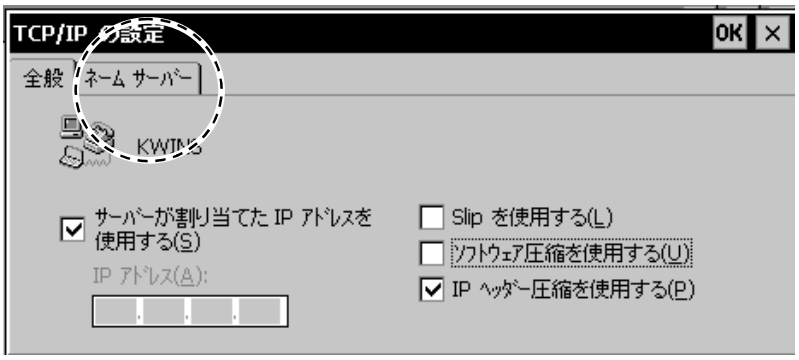
４　［通信速度］で［１１５２００］を選択し、［ＯＫ］をクリックします。



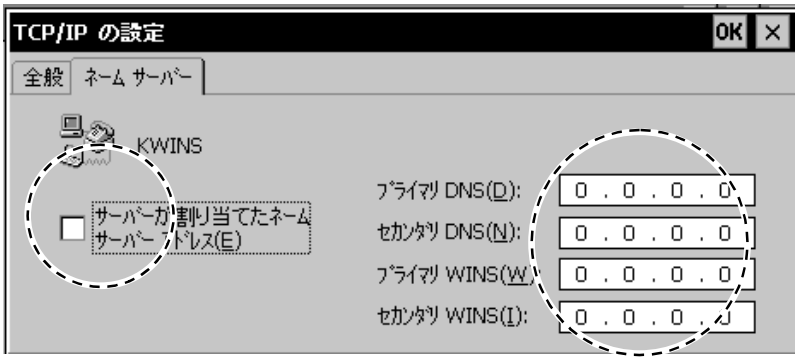
5　［ＴＣＰ/ＩＰの設定］をクリックします。



6　ＴＣＰ/ＩＰの設定は、契約したプロバイダによってそれぞれ違います。プロバイダの指示に従ってチェックをつけてください。その後、［ネームサーバー］タブをクリックします。



7　［サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス］のチェックをはずし、プロバイダから取得したネームサーバーアドレスを入力します。（プロバイダによっては設定が異なる場合があります。プロバイダにご確認ください。）。その後、［ＯＫ］をクリックします。
（下記のネームサーバーアドレスは架空のものです。）



8　［次へ］をクリックします。

９　契約したプロバイダの通信方式が確認できたら、ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。

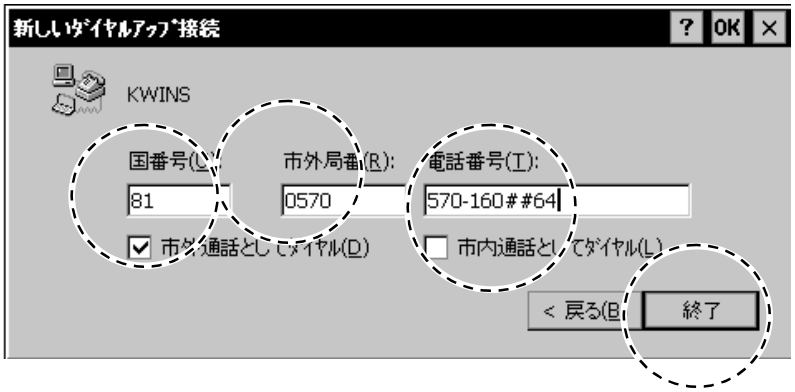
利用する通信方式に対応した電話番号（例：0570-570-160）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃６ｎを加えてください。

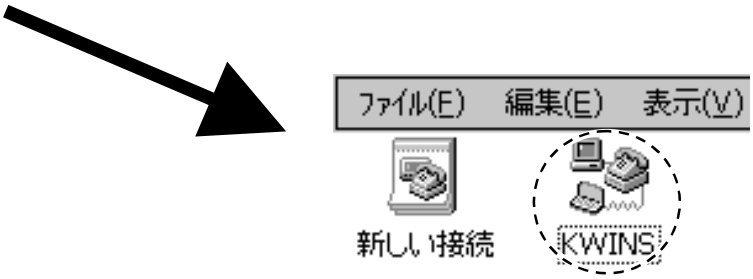
３２ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６１

１２８ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６４

［市外通話としてダイヤル］チェックボックスにチェックし、［終了］をクリックしてください。リモートネットワークウィンドウ内に手順 2 で指定した名前のアイコンが作成されます。

これで設定は完了です。





注意：市内に接続する場合でも、必ず市外局番から設定してください。

インターネットに接続する　→　６５ページ

各種ＰＤＡの場合

１　通信ソフトを立ち上げて、以下の通信環境の設定を確認します。
モデムの選択を要求するソフトの場合は、「標準 28800bps モデム」「ヘイズ AT 対応モデム」などを選択してください。
通信速度は「115200」に設定してください。この速度がない場合は、機器の最高速度を選択してください。
通信ソフトによって設定方法が異なりますので、詳細などは通信ソフトや PDA の取扱説明書をご覧ください。

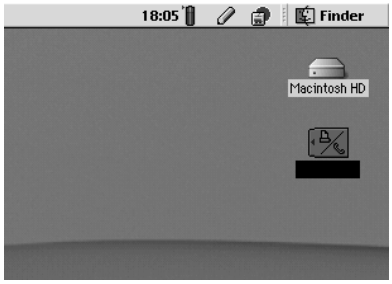
２　ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力します。
市外局番の欄は空欄にしておいてください。電話番号の欄に、利用する通信方式に対応した電話番号
（例：0570-570-160 外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃６ｎを加えてください。

３２ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６１
１２８ｋパケット方式の場合：0570-570-160＃＃６４
これで設定は完了です。

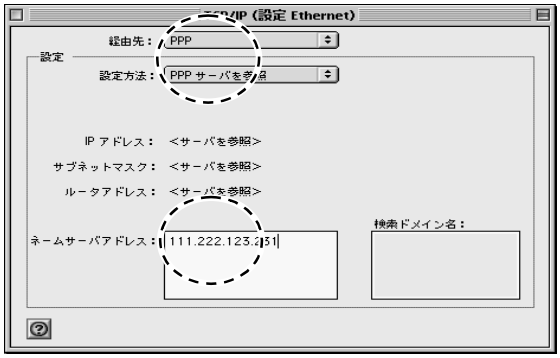
Ｍａｃｉｎｔｏｓｈの場合

ネットワークに接続するためには、「Open Transport/PPP」や「Apple Remote Access クライアント」などのソフトを使います。ここでは、「Open Transport/PPP」を使っての設定方法を説明します。
「Open Transport/PPP」がインストールされていない場合は、Macintosh の取扱説明書をご覧になって、インストールしてください。

１　お使いのＭａｃｉｎｔｏｓｈに本ＰＣカードを挿入した状態で、デスクトップ上にカードアイコンが表示されることを確認します。



２　［コントロールパネル］から［ＴＣＰ/ＩＰ］を選択し、ＴＣＰ/ＩＰ設定画面を表示させます。
経由先を［ＰＰＰ］に、設定方法を［ＰＰＰサーバを参照］に設定します。ネームサーバアドレスでは、プロバイダから取得してあるサーバアドレスを入力します。



３　［コントロールパネル］から［モデム］を選択し、モデム設定画面を表示させます。経由先を「ＫＷ－Ｈ１２８」にします。
[
アクセスポイントの通信方式を選択してください。

注意：経由先は、場合によって[上（下）段ＰＣカードスロット]と表示されることがあります
その場合は、カードを挿入しているスロットを指定してください。

インターネットに接続する　⇒　６５ページ

Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５/９８/Ｍｅの場合

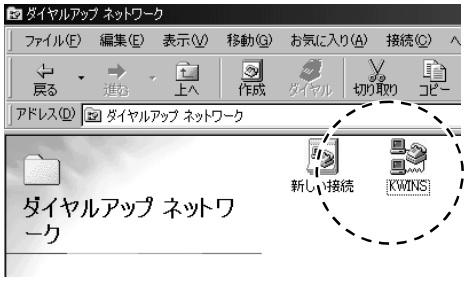
インターネットに実際に接続するためには、プロバイダから取得した以下の情報を手元に用意してください。

ユーザ名

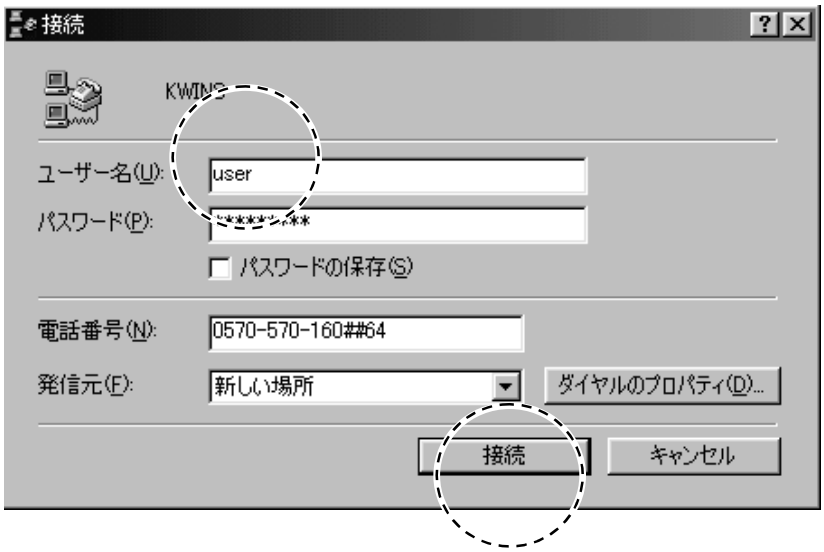
パスワード

なお、ここではWindows Meの画面を使って説明しますが、Windows 95および98でも操作は同じです。

１　２８ページで作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例ではＫＷＩＮＳ）のアイコンをダブルクリックします。



２　プロバイダから取得したユーザ名とパスワードを入力し、［接続］をクリックします。プロバイダへの接続が開始されます。

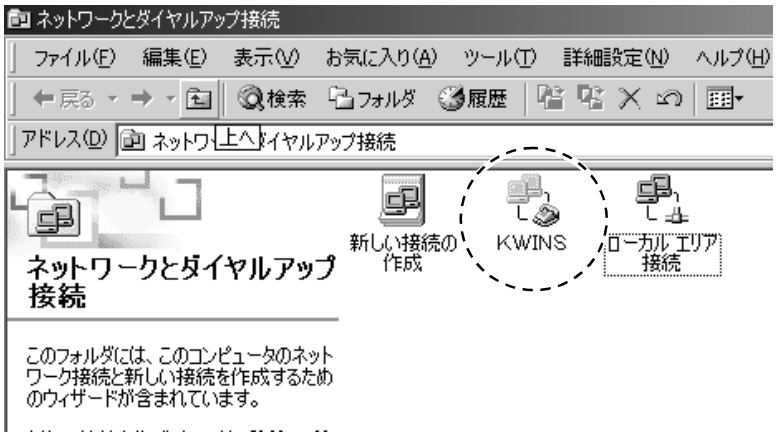


３　１０ページの「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　２０００の場合

ユーザ名
パスワード

１　５４ページで作成された「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例ではＫＷＩＮＳ）のアイコンをダブルクリックします。



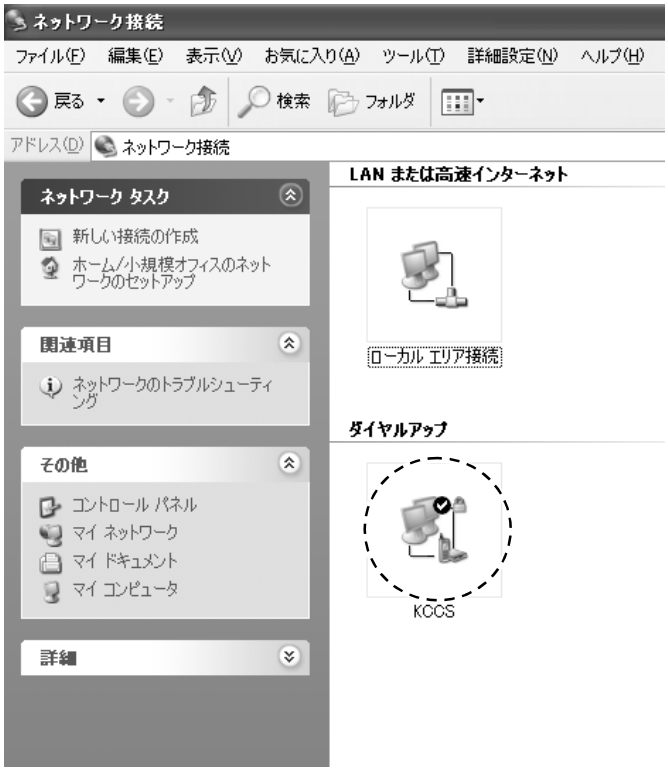
２　プロバイダから取得したユーザ名とパスワードを入力し、［ダイヤル］をクリックします。
プロバイダへの接続が開始されます。

３　１０ページの「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＸＰの場合

ユーザ名
パスワード

１　４４ページで作成された「ネットワーク接続」ウィンドウ内のアイコン（例ではＫＷＩＮＳ）の
アイコンをダブルクリックします。



２　ユーザ名とパスワードを入力し、[ダイヤル］をクリックします。
ＫＷＩＮＳへの接続が開始されます。

３　１０ページの「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインター
ネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＣＥの場合

ユーザ名
パスワード

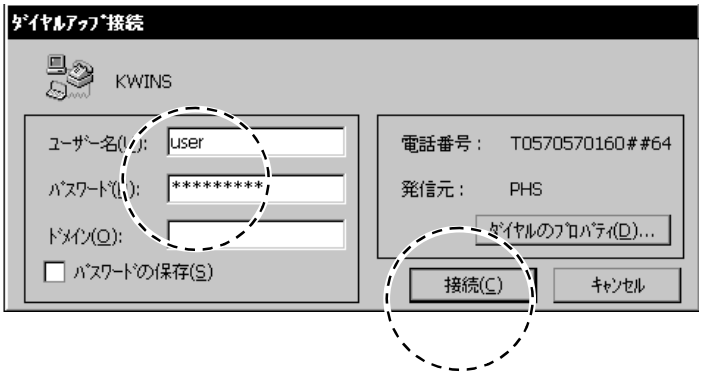
１　４８ページで作成された「リモートネットワーク」ウィンドウ内のアイコン（例ではＫＷＩＮＳ）のアイコンをダブルクリックします。

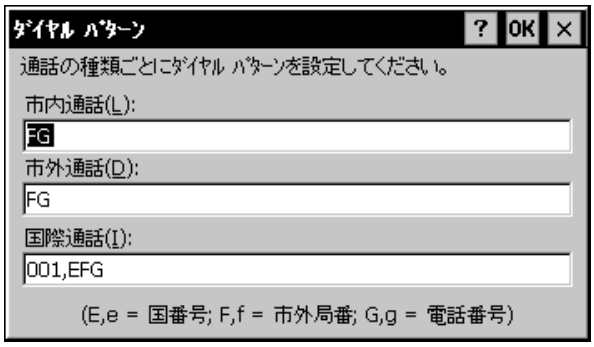
２　ユーザ名とパスワードを入力し、[接続] をクリックします。
ＫＷＩＮＳへの接続が開始されます。

注意：電話番号表示に、0 発信（T0、）がついている場合は、電話番号の設定が間違っています。この場合は、[ダイヤルのプロパティ]の[ダイヤルパターン]で設定を修正します。

正しい　○　T0570570160##64

間違い　×　T0、0570―570－160＃＃64



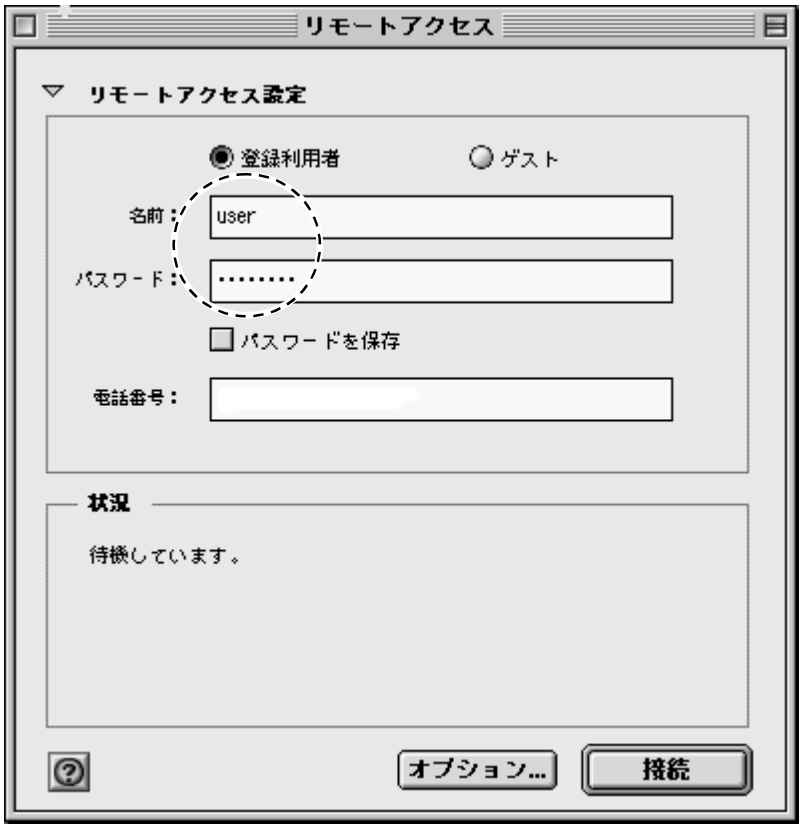


３　１０ページの「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

Ｍａｃｉｎｔｏｓｈの場合

ユーザ名（名前）
パスワード
プロバイダのアクセスポイントの電話番号

１　［コントロールパネル］から［リモートアクセス］を選択し、リモートアクセス設定画面を表示させ、プロバイダから取得したユーザＩＤとパスワードを入力します。



２　アクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号（例：012-345-6789）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する＃＃６ｎを加えてください。

３２ｋパケット方式の場合：　０５７０－５７０－１６０＃＃６１

１２８ｋパケット方式の場合：　０５７０－５７０－１６０＃＃６４

電話番号入力後、[接続]をクリックするとＫＷＩＮＳへの接続が開始されます。

注意：電話番号を入力する際は、市外局番から入力してください。

３　２０ページの「手順の流れ」の「ブラウザやメールソフトのインストール」でインストールしたインターネットエクスプローラなどのブラウザのソフトを起動してください。

困ったときに

確認してください‥‥‥‥‥６９
カスタマサポート‥‥‥‥‥７３

確認してください

本 PC カードが正常に動作しない場合は、まず以下の項目を確認してください。

確認しても動作しない場合は、お買い上げの販売窓口までお問い合わせください。

症状

本ＰＣカードを差し込んでもパソコンが全く反応しない

確認事項

・本 PC カードが正しく接続されていない可能性があります。カードをもう一度、奥までしっかりと差し込んでください。

・PCMCIA カードのドライバが正常に機能していない可能性があります。PCMCIA カードのドライバが正しくセットされていることを確認の上（⇒５０ページ）、本 PC カードを差し込んでください。

・省エネタイプのパソコンでは PC カードへの電源を OFF にしているものがあります。本 PC カードのランプがどちらも消灯している場合にはカードへの電源が供給されていない可能性があるので、パソコンの取扱説明書に従い、電源の状態を確認してください。

・本 PC カードのランプの状態を確認してください。アンテナマーク側が赤点灯のままの場合、パソコンや PDA の電源を OFF にし、再度電源を投入してください。（⇒１７ページ）

症状

本ＰＣカードをパソコンに認識させたのに通信ソフトから使えない

確認事項

・５０ページの手順に従って各項目を確認してください。

症状

データ通信時、つながるとすぐきれてしまう

確認事項

・通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID 番号・パスワード・データ形式などを確認してください。

・ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IP の設定も確認してください。

症状

通信が安定しない

確認事項

・電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。本 PC カードのアンテナマーク側ランプが安定して点灯していることを確認してください。

・同ランプが点滅している場合は、電波の届きにくい場所である可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。

・通信相手とデータ形式が合っていない場合があります。
データ形式を確認してください。

症状

通信できない（電話がかけられない）

電話をかけ始めるとすぐ切れてしまう

確認事項

・通信方式の設定が正しく行われていない可能性があります。通信方式の設定について１３ページをご参照の上、ご確認ください。

・自動再発信規制中の可能性があります。最初の発信から 3 分以内に行うことができる再発信は 2 回までです。しばらくしてから、再度発信してみてください。
・お近くの基地局で使える回線がすべて他の人に使用されていると利用できない場合があります。
しばらくしてから、再度発信してみてください。

症状

通信速度が遅く感じる

確認事項

・通信方式の設定が正しくない可能性があります。１３ページ
および３６ページ以降の「ＫＷＩＮＳの電話番号・DNS アドレスの各種設定をする」に記載された電話番号の入力方法をご確認ください。
・電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。
・パソコンと PC カードとの通信速度設定が低い場合があります。特に Windows でダイヤルアップ接続を利用している場合は、［ダイヤルアップネットワーク］の設定の中で PC カードとの通信速度をご使用のパソコンの上限速度に設定してください。［コントロールパネル］からの通信速度の設定は無効になりますのでご注意ください。

症状

通信ソフトがうまく動かない

確認事項

・ 途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、通信ソフトの設定が不適切な可能性があります。通信ソフトの設定内容を確認してください。
・ パソコンや PDA の電源をいったん OFF にし、本書に従って、再度本ＰＣカードを接続してください。
・ パソコンや PDA の電池を確認してください。電池が少なくなると、動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、新しい電池に交換するか、パソコンや PDA に付属の AC アダプタを使って動かしてみてください。

症状

通信していないのに電力を消耗する

確認事項

・通信ソフトを起動していると通信していなくても電力を消耗します。通信をしていない時はできるだけ通信ソフトを終了させるようにしてください。

症状

誤って標準ＰＣＭＣＩＡカードモデムで認識させてしまった
（Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５/９８/Ｍｅ/２０００/ＸＰ）

確認事項

・本 PC カードを抜いた状態で「コントロールパネル」→「モデム」開いて「モデムのプロパティ」の中の［標準 PCMCIA カードモデム］を選んで削除してから再度セットアップを行ってください。

本ＰＣカードが動作しない場合の確認事項

ここでは、Windows 95/98/Me/2000/XP の場合の確認事項を説明します。他の使用環境のものに関しては、弊社サポートデスクにお問い合わせください。

１　本 PC カードを挿入した状態で［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［システム］を開き、［デバイスマネージャ］タブをクリックしてください。

「PCMCIA ソケット」が表示されていますか？

表示されない

PCMCIA ソケットが有効になっていません。パソコンの取扱説明書に従い、PCMCIA を有効にしてください。

表示された

２　一覧の中の［モデム］をクリックしたとき［HONDA ELECTRON CO.,LTD-KW-H128］に「！」（ビックリマーク）または「×」（バツ）がついていますか？

ついている

本 PC カードが正しく認識されていません。再度本 PC カードの認識を行ってください。

ついていない

３　［HONDA ELECTRON CO .,LTD-KW-H128］をダブルクリックして［プロパティ］を開いたとき、「デバイスの状態」は「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていますか？

表示されない

本 PC カードが正しく認識されていません。再度本 PC カードの認識を行ってください。

表示された

４　３の［プロパティ］内で［モデム］タブをクリックし、［ポート］の COM 番号が正しく割り当てられているか確認してください。

正しく割り当てられていない

他のポート（通信ポートや赤外線ポートなど）とぶつかっていたりして、使用できない状態になっている場合は、カード名を削除し再度インストールするか、通信ポートや赤外線ポートなどを Bios の設定で OFF にしてみてください。それでも番号が正しく割り当てられない場合は、販売窓口までご相談ください。

正しく割り当てられている

５　いったん「モデムのプロパティ」を閉じてください。

次に、６５ページの手順１から６６ページの手順５でターミナルソフトを起動し、入力フィールドに

ａｔｉ４と入力して Enter キーを押してください。

文字が入力できない

パソコンの設定によっては、文字が表示されないだけの場合があります。「atz」と入力して Enter キーを押し、再度「ati4」と入力してみてください。

それでも入力できないときは、本 PC カードが正しく認識されていない可能性があります。再度本 PC カードの認識を行ってください。

「ＫＷ－Ｈ１２８　ＯＫ」以外の文字列が返送された

モデムの選択で違うモデムを指定しています。「HONDA ELECTRON CO.,LTD-KW-H128」を選択してください。

それでも同じ状態であれば、一度すべてのモデム設定を削除し、再度本 PC カードの認識を行ってください。

「ＫＷ－Ｈ１２８　ＯＫ」が返送された

６　ａｔｄアクセスポイントの電話番号＃＃６ｎと入力して Enter キーを押してください。

##6n の設定は通信方式ごとに異なります。１３ページの「通信方式の設定について」をご覧ください。

「ｃｏｎｎｅｃｔ」以外の文字列が返送された

通信設定が間違っています。再度設定しなおしてください。

ＮＯ　ＣＡＲＲＩＥＲと表示された

アクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。

また、「アクセスポイントの通信方式」と「通信方式の設定」が正しいか確認して、再度「atd アクセスポイントの電話番号##6n」を入力してみてください。また、DDI ポケットのサービスエリア内にいるか７ページをご覧になって確認してください。

アクセスポイントの混雑なども考えられますので、数回行ってみてください。

「ｃｏｎｎｅｃｔ」が返送された

カードの認識（セットアップ）に問題がなく、通信可能な状態です。

メニューバーの［ファイル］→［ハイパーターミナルの終了］をクリックして切断し、ハイパーターミナルを終了してください。

カスタマサポート

本 PC カードに関する技術的なお問い合わせは、下記コールセンターまでご連絡ください。
また、修理を依頼される場合は、本 PC カードに保証書を添えてお買い上げの販売窓口までご持参ください。

京セラコミュニケーションシステム株式会社　コールセンター
〒108-8605　東京都港区高輪 2-18-10（日石高輪ビル）
電話番号　：　００７７－７８３７０９
ＵＲＬ　：　http://www.kccs.co.jp

4　付録

コマンドリファレンス‥‥‥‥７５
用語集 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥８１
仕様‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥８３
索引‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥８４

コマンドリファレンス

データ通信を行うために、本 PC カードをパソコン（または PDA）から制御するためのコマンドについて説明します。なお、各コマンドの詳細については、本 PC カードに付属されているセットアップ用ＣＤ－ＲＯＭ内の「コマンドリファレンス」をご覧ください。

本 PC カードを制御するコマンドは、米国 Hayes 社の「AT コマンド」と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。通常は、通信ソフトが AT コマンドを発行するので、AT コマンドを意識する必要はありません。独自に本 PC カードを制御したい場合は、AT コマンドを制御できる通信ソフト（ターミナルソフト）を用意してください。

ＡＴコマンドの入力方法例

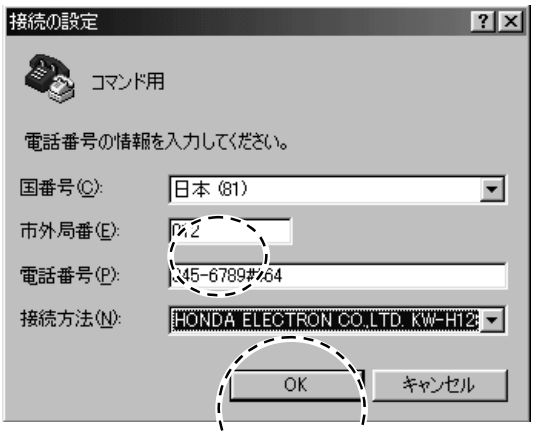
ここでは、通信ソフトとして Windows 95/98 のハイパーターミナルを使って、AT コマンドを入力する方法を説明します。

1. ［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［ハイパーターミナル］（Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８の場合は［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［ハイパーターミナル］）の順に開いていきます。
「ハイパーターミナル」ウィンドウが開きます。
ハイパーターミナルがない場合は、［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］→［Windows ファイル］→［通信］→［詳細］の順に開いていき、インストールしてください。

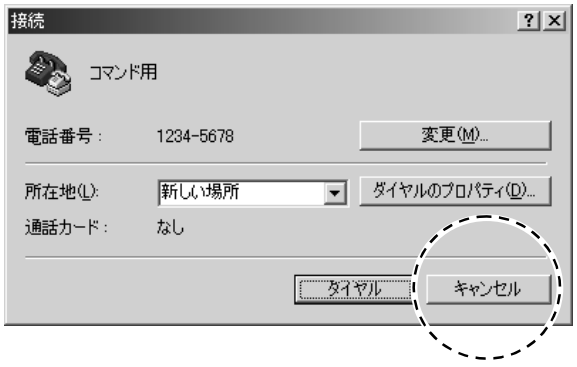
2.「Ｈｙｐｅｒｔｒｍ.ｅｘｅ」を起動します。

3.「接続の設定」ウィンドウ内の［名前］に適当な名前を入力し、［ＯＫ］をクリックします

4.[電話番号] にアクセスポイントの電話番号を入力し、[接続方法] に「ＨＯＮＤＡ　ＥＬＥＣＴＲＯＮ　ＣＯ.,ＬＴＤ．ＫＷ－Ｈ１２８」を指定して［ＯＫ］をクリックしてください。



5.「接続」ウィンドウで、［キャンセル］をクリックしてください。



６　ＡＴと入力しＥｎｔｅｒキーを押したとき、「ＯＫ」と表示されたら、準備は完了です。独自の設定に変更してください。

主な設定例

発信者番号通知機能を設定したい場合

AT#A0 と入力し Enter キーを押します。

「発信者番号表示をしない」に設定されました。

※初期設定は ”1”「発信者番号を通知する」に設定されています。

ＡＴコマンド

本 PC カードでは複数の通信方式が利用できますが、通信方式によってはサポートできる AT コマンドが異なる場合があります。

AT コマンドは、アテンションコードである‘AT’と、引き続く文字によるコマンドから構成され、以下の書式となっています。

ATMmNn・・・Enter

AT： アテンションコード。AT コマンド列の開始を示します。

M、N：コマンド文字。AT コマンドの種類を示す文字（列）です。

m、n：コマンドパラメータ。コマンド文字で指示されたコマンドの内容を指定します。

Enter:キャリジリターン（エンター）キーの入力を示します。

なお、コマンドの入力は、大文字・小文字ともに可能です。

コマンド	内　　容	初期値
A/	コマンドリピート	－
Dn	オリジネートモードへの移行	－
En	コマンドエコー	1
Hn	フック制御	－
In	アイデンティフィケーション	－
On	オンラインデータモードへの復帰	－
Qn	リザルトコード設定	0
Sr?	S レジスタの内容表示	－
Sr=	S レジスタ値の設定	－
Vn	リザルト形式	1
Xn	リザルトコードの範囲指定	4
W	PC カード設定プロファイルの読み出し	－
Z	ソフトリセット	－
\Vn	拡張リザルトコードの選択 1	－
\Xn	拡張リザルトコードの選択 2	－
&Cn	DCD（キャリア検出）制御	1
&Dn	DTR 制御	2
&F	デフォルト（工場出荷時の設定）の呼出	－
&Kn	フロー制御	3
&Sn	DSR 信号制御	0
&V	現在のコンフィグレーションの表示	－
&W	PC カード設定プロファイルへの書き込み	－
&Z	PC カード設定プロファイルへの初期化	－
+++	エスケープシーケンスコマンド	－

Ｓレジスタ

S レジスタは、通信用 PC カードとしての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。
一般的に、本 PC カードの使用は、デフォルト（工場出荷時の設定）の状態で可能です。S レジスタの内容を変更する場合には、付属の CD-ROM 内に入っている「コマンドリファレンス」をご覧ください。

コマンド	内　　容	初期値
S7	キャリア検出許容時間	50
S30	無通信監視タイマ（不活動切断タイマ）	0

拡張ＡＴコマンド

本 PC カードでは、固有の動作・機能をサポートするために「拡張 AT コマンド」（標準的な AT コマンドではない、当社独自に規定した本 PC カード専用の AT コマンド）を設定してあります。
一般的なデータ通信で使用する場合は、デフォルトの状態でご利用になれます。
通信方式の選択など、固有の機能をご利用になる場合にご利用ください

コマンド	内　　容	初期値
#An	発信者番号通知機能の選択	1
@Dn	着サブアドレス有／無設定機能の選択	1
@Om	通話サービスの変更	－

リザルトコード

本 PC カードでは AT コマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコン（または PDA）へ返します。

なお、サポートしていないコマンドを受けた場合には「ERROR」を返します。通信ソフトによっては、「ERROR」を受けると動作を停止するものがありますのでご注意ください。

数字	リザルト文字	内　　容
0	OK	AT コマンドが正しく実行された
1	CONNECT	相手と通信状態になった データ通信モードへ復帰した
3	NO　CARRIER	回線が切断された
4	ERROR	コマンドフォーマットエラー コマンド状態エラー
7	BUSY	相手が話し中
29	DELAYED	しばらくしてからかけ直し

用語集

ＡＴコマンド

米国 Hayes 社の「AT コマンド」と呼ばれるコマンドで、モデムの制御などに一般的に用いられているものです。AT コマンドは、アテンションコードである‘ AT ’と、引き続く文字によるコマンドから構成されます。

ｂｐｓ

Bit Per Second の略です。情報をやりとりするスピードの単位で、1 秒間に送信できるビット数を表します。

ＣＣＬファイル

Macintosh マシンで周辺デバイスの詳細を定義するファイルで、Open Transport/PPP や Apple Remote Access クライアントなどの通信ソフトで本 PC カードを利用するのに必要なモデム設定ファイルです。

ＤＴＥ速度

パソコンからモデムまでの通信速度のことをいいます。

ＰＣ　Ｃａｒｄ　Ｓｔａｎｄａｒｄ

PC カードの規格です。

ＰＤＡ

Personal Digital Assistants の略で、携帯情報端末のことです。

Ｓレジスタ

S レジスタは、通信用 PC カードとしての動作を詳細に制御するための数値を保持しておくものです。

アクセスポイント

プロバイダが用意しているインターネットへの入口です。インターネットを利用するには、アクセスポイントに電話をかけて接続します。使用するモデムの通信速度によって利用できるアクセスポイントは異なります。アクセスする場合は、通信方式にあったアクセスポイントを選ぶか、アクセスポイントにあった通信方式を設定してください。

オンラインコマンドモード

通信相手との接続状態を保持したまま、一時的に移ったコマンドモードの状態です。エスケープコマンドによりこの状態に移行します。

オンラインモード

PC カードが通信相手と接続されている状態です。この状態では、PC カードはパソコン（または PDA）と通信相手とのデータの受け渡しを行っています。

回線速度

モデム間の通信速度のことをいいます。

拡張ＡＴコマンド

本 PC カードでは、PHS 固有の動作・機能をサポートするために「拡張 AT コマンド」（標準的な AT コマンドではない、当社独自に規定した本 PC カード専用の AT コマンド）を設定してあります。

コマンドモード

PC カードがパソコン（または PDA）との間でコマンドを受け取ったり、リザルトコードを送っている状態です。PC カードに動作環境を設定する時がこの状態です。

３２ｋパケット方式

DDI ポケットがサービスを行っているパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

下り最大３２kbps、上り最大１７kbps でインターネットへの接続が可能です。

設定プロファイル

本 PC カードでは、AT コマンドや S レジスタで設定した情報を、不揮発性メモリーにより電源を OFF にしても保持することができます。この保存された情報を「設定プロファイル」と呼びます。電源 ON 時にはプロファイルの設定で起動します。

データ圧縮

データを圧縮して送信することで、同じ通信速度で多くのデータを送ることができます。本 PC カードでは、無線モデム方式でサポートしています。

１２８ｋパケット方式

DDI ポケットがサービスを行っているパケット通信方式で、情報をパケット（小包）に分割してパケット単位で情報をやりとりする方式です。４つの基地局を利用することで下り最大１２８kbps、上り最大６８kbps でインターネットへ接続が可能です。

プラグ＆プレイ

周辺機器をパソコン本体に接続する際、ケーブルなどを接続して電源を入れると、半自動的にドライバのインストールなどを行って使える状態にしてくれる機能のことです。

フロー制御

データ通信を行う際に、送信側と受信側の処理速度の違いから、データが溢れてしまうことを防ぐために行われる制御のことです。パソコンと PC カード、PC カードと通信相手のモデムの間などでフロー制御が生じます。本 PC カードを利用するにあたり、フロー制御は必要なものとお考えください。

フロー制御には RTS/CTS 信号線を使用するハードウェアフロー制御と、XON/XOFF キャラクタを使用するソフトウェアフロー制御の 2 種類があります。XON/XOFF フロー制御では 2 種類の 1 バイト文字を使用してフローコントロールをしますので、バイナリファイルの転送などには不向きです。使用するフロー制御の方式は、プロバイダなどで指定していますので、それに従ってください。

プロバイダ

インターネット接続のサービスを代行している業者のことをいいます。プロバイダは専用のサーバをもっており、ユーザはそこへアクセスすれば簡単にインターネットが始められます。個人でインターネットを利用する場合には、プロバイダに加入し、認証のためのユーザ名とパスワードを発行してもらいます。

パケット通信方式

DDI ポケットが提供するパケット方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。３２ｋパケット、１２８ｋパケット通信方式があります。

リザルトコード

本 PC カードでは AT コマンドを受け付けた場合、そのコマンドに対応した動作を行い、その結果をリザルトコードとしてパソコン（または PDA）へ返します。

仕様

製品名	KW-H128
外形寸法	54㎜×110㎜×10㎜ PC カード TypeⅡ Extended
重量	約 50g
使用電源	DC5V（PC カードスロットより供給）
平均消費電流（通信時）	約 200㎃（１２８ｋパケット通信時）
環境条件	動作温度範囲：5～+40℃ 動作湿度範囲：20～80％ＲＨ（結露しないこと）
制御コマンド	ヘイズ AT コマンド準拠

技術基準適合認定番号：Ｊ01-0209

索引

A
Apple Remote Access クライアント……６１
AT コマンド……７５，７８

C
CCL ファイル……３９

D
DNS サーバアドレス……４０
M
MODE……６１

O
Open Transport/PPP……６９

P
PCMCIA……６９
PC カードスタンダード……６

S
S レジスタ……７８

T
TCP/IP……４１

ア
アクセスポイント……４０
アンテナマーク……１７

イ
インターネット……７８

カ
拡張 AT コマンド……７３

サ
サポートデスク……７３
３２ｋパケット方式……１２，１３

シ
自動再発信の制限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

セ
設定プロファイル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８

ネ
ネームサーバアドレス・・・・・・・・・・・・・・・・・４０

ハ
パスワード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２～６７

ヒ
１２８ｋパケット方式・・・・・・・・・・・・・・１２，１３

フ
プラグアンドプレイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
フロー制御・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８
プロバイダ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

ホ
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

ユ
ユーザ名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６２～６７

リ
リザルトコード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８０